



ぬくもりのバトンプロジェクト

常総市民

9月10日からの想い



発行：たすけあいセンター「JUNTOS」

(運営：認定NPO法人 茨城NPOセンター・コモンズ)

常総市水海道森下町4346-3 エルバ水海道 常総線「北水海道駅」近く

☎：0297-44-4281 FAX：0297-44-4291

ぬくもりのバトンプロジェクトとは

ぬくもりのバトンプロジェクトでは、水害に遭われた常総市民に水害後の**想いや体験**などを綴っていただきます。

参加いただいた方たちに、カンパや寄付で購入した**電気毛布**（電気毛布には限りがありますので足りない場合は別の物になることもあります）をお配りする活動です。被災者の方たちが想いや経験を共有し、生活が一変し大変な状況にいるのは自分だけではないと感じることで、厳しい状況を乗り越える一助になればと考えています。

またこの活動を今後の住民同士のつながりづくりや、活動づくりに役立てたいと考えています。

参加方法

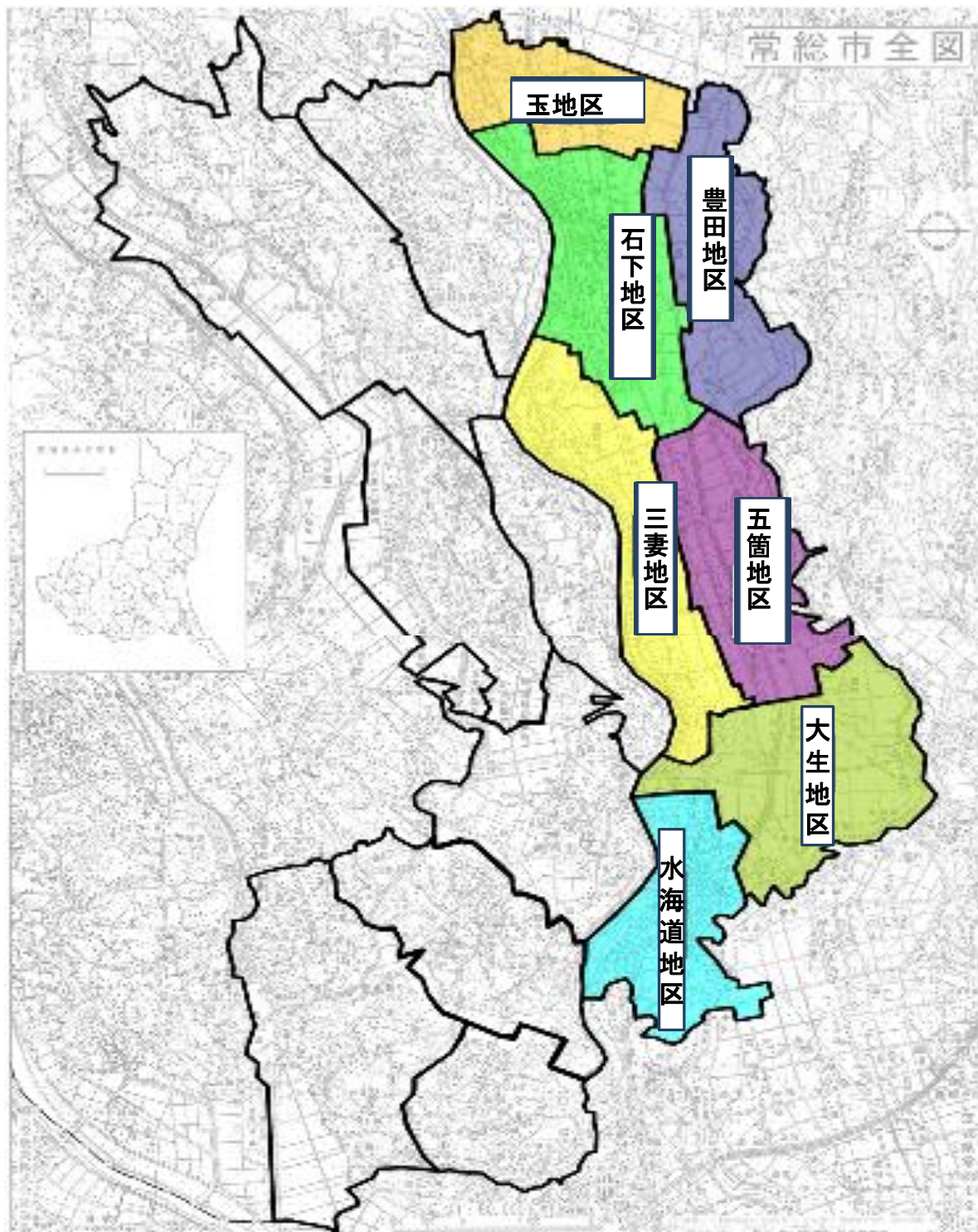
JUNTOSにお電話いただくか、来所してスタッフにお尋ねください。電気毛布とともに、記入用紙をお届けします（記入用紙は後日郵送してくだされば大丈夫です）。

☎：0297-44-4281 FAX：0297-44-4291

皆さんに尋ねた質問

- ①9月10日から今までどうすごしてきましたか
- ②生活はどこがどう変わりましたか
- ③うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか
- ④今回学んだことや教訓はどんなことですか
- ⑤今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか
- ⑥まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか
- ⑦行政に望むことはなんですか
- ⑧市外の人たちへのメッセージをお願いします。

常総市地図



◆水海道地区

(水海道高野町, 水海道天満町, 水海道亀岡町, 水海道本町, 水海道元町, 水海道栄町, 水海道宝町, 水海道諏訪町, 水海道橋本町, 水海道森下町, 水海道湊頭町, 水海道山田町, 水海道川又町)

◆三妻地区

(三坂町, 中妻町)

◆五箇地区

(沖新田町, 三坂新田町, 福二町, 上蛇町, 川崎町)

◆大生地区

(小山戸町, 相野谷町, 中山町, 平町, 十花町, 東町, 大崎町, 箕輪町, 兵町, 長助町, 新井木町)

◆石下地区

(本石下, 新石下, 大房, 東野原, 山口, 平内, 収納谷)

◆豊田地区

(舘方, 豊田, 本豊田, 曲田)

◆玉地区

(原宿, 小保川, 若宮戸)

森下町の声

① 9月10日から今までどうすごしてきましたか

私は高齢者の一人住まいです。停電、断水、夜はみんな家にいなくなつて、外は真っ暗闇、現在は家の修理で毎日職人さんが来ています。

② 生活はどうかどう変わりましたか

家で毎日忙しく3か月たったのに何も変わっていない。

③ うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか

ボランティアの人たちの助けでとても元気づけられました。犬を連れて避難した体育館には入れず3日3晩犬と校庭で座っていました。これが限界と川越の子供の家に行き初めて足をのばして寝ることができました。

④ 今回学んだことや教訓はどんなことですか

水害にあつて、3日や広島の災害やいろいろ襲ってきました。被災者はみんな一生懸命に明日に向かって希望を持って進んでいこうと思います。

⑤ 今後のことと考えていること、悩んでいることはなんですか

私は今78歳です。老後のためにとつておいたお金は全部家の修理にかかってしまいました。この先のことを考えるとどうしていいのかわかりません。子供達二人も近くに住んでいるので水害にあい自分のことは自分で人には迷惑はかけられません。

⑥ まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか

若い人たちが常総市から他の市町に出ていくのを聞くととてもさびしいです。つくば市ばかり発展して、少しはじょうそうしにも国の大事な機関を作つてほしいです。

⑦ 行政に望むことはなんですか

私達はいままできまつた税金をはらうため一生けんめい働いてきました。これから安心して生きていけるようにしてほしいです。

森下町の声

① 9月10日から今までどうすごしてきましたか
20日間ばかり豊岡のふれあいセンターに避難していました。段ボールベッドを作ってもらって何とかおちついて日1日を平凡に暮らしています。

② 生活はどごがどう変わりましたか

今迄は畑もやっていたが今はそれどころじゃない。草取りも思うように出来なくてただ畑を眺めるばかりです。

③ うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか

ひなんして下着数より服毛布など頂いたことうれしかった事つらかった事は思うようにお風呂に入れなかった事、

④ 今回学んだことや教訓はどんなことですか

ふだんの生活がいかに大切かをまなびました。又電気毛布を頂けるなんてほんとうにうれしいです。ありがとうございます。

⑤ 今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか
早く元の住居に戻れるようにしてもらいたい

⑦ 行政に望むことはなんですか
平和で明るい町になりますように

⑧ 市外の人たちへのメッセージをお願いします
大水のときにはたくさんの人達に助けられてほんとうにありがとうございます。



森下町の声

① 9月10日から今までどうすごしてきましたか

12日にへりで一晩坂手の体育館でお世話になり13日から姉宅で5日やかいかいになっておりました。それから自宅に戻り片付けして大工さんに板張りをして頂き今は普通の生活に入っております。

② 生活はどこが変わりましたか

何もかにも泥まみれになり1ヶ月やり直すことになる事にずい分思い悩みましたが皆様のおかげで勇気を頂き元気になりました。

③ うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか

ボランティアさんからのお力、友達・親せきの方の温かいお力がともうれしかった電気製品、何もかもがなくなつて買いなおすこと

④ 今回学んだことや教訓はどんなことですか
人の温かみ、はげましのお力が心にしみた

⑤ 今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか
早くに大切なニュースが欲しかった。早く逃げるとか大切な物は上にあげろとか。何もあげることができなかった。

⑥ まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか
何が何でもお金が大切です。

⑦ 行政に望むことはなんですか
お金です。

⑧ 市外の人たちへのメッセージをお願いします。
大変だった事をわかってほしい

森下町の声

① 9月10日から今までどうすごしてきましたか

元通りの生活にもどす為、床下乾燥、シロアリ薬塗布、防腐剤塗り、床下ケタの補強、床フローリング張り、台所流し交換、石膏ボード取り替え、押し入れ床、壁の交換等諸々の工事を家族で実施して3ヶ月があつというまにたちました。毎日毎日が多忙そのものでした。12月中旬になり何とか落ち着くことが出来ました。まだまだ残っている工事あります。来年迄多忙の日が続きます。

② 生活はどこがどう変わりましたか

体調管理の為栄養剤を使用するようになった。出費多いため節約するようになりました。健康管理に気をつけるようになりました。保険関係の見直しをするようになりました。

③ うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか

知人友人の応援が多数あつたこと車無く足が不便であつた。代車等の確保に苦労した。まともなご飯が食べられなかった台所ダメになったため自炊できず

④ 今回学んだことや教訓はどんなことですか

情報の収集と危険予知力の不足周囲の人達との協力が無いと何もできない。市の情報機能を充実させること、情報対策室の新設検討

⑤ 今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか

1. 県議、市長、市議をまじえた定期的な話し合いをもつこと、地区ごとに実施すること
2. この市に住むか否かを考えている人多数いる状況です。

⑥ まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思えますか

地域住民の結束協調協力が必要市役所がしっかりとした考え、対応、対策を実施、実行し、進んで行く事。

⑦ 行政に望むことはなんですか

1. あらゆる災害を想定したうえで避難訓練を地区ごとに定期的に実施すること。水害、地震
2. 水関係機能チェック強化、定期的に確実に実施すること
3. 堤防の再チェックの強化、市民に知らせること
4. 各家庭内に無線機設置検討(他市町村を参考に視察すること)
5. 危険地訓練を定期的に実施(各企業では実施している、企業は定期的に実施している所多くある)

⑧ 市外の人たちへのメッセージをお願いします。

数多くの救援物資、義援金、ボランティア本当にありがとうございました。お陰様で何とか元の生活に戻りつつあります。

森下町の声

① 9月10日から今までどうすごしてきましたか
少しづつ通いながら、どうにか自宅で過ごしています。今まで自分の土地は安心だと甘い所が、ありあり見せつけられました。避難することだけで、物を上げるという意識がたりなかったように思います。だからこそ失ったものが多かったように思います。

② 生活はどこがどう変わりましたか
今まであったものがないということで、買うという気持ちになれなくて生活がしづらいです。

③ うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか
見ず知らずの人達の差し入れ、声かけ。ジュントスさんのたびたびの炊き出し、差し入れ、ありがたく思います。家の中、家の回りの水位の汚れをみると、今でも涙が出ます。

④ 今回学んだことや教訓はどんなことですか
自分で嬉しかったことなど、何かの形で協力したいと思います。

⑤ 今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか
自分の生きている時代位は住めると思う気持ちで1年前にリフォームしましたが、これから何百万もかけて直すことは無理なので、若い人にまかせて、新築する予定なので、不安があります。

⑥ まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか
常総の商店の復興をしないと、どんどん暗くなっていきます。明るい町作りにしてほしいです。買物もどんどん外へ行ってしまいます。

⑦ 行政に望むことはなんですか
街の復興の予算を下さい。

⑧ 市外の人たちへのメッセージをお願いします。
大変ですねという言葉をかけて下さっても、被害にあった人でないとわからない。常総の街に来て下さい。

森下町の声

① 9月10日から今までどうすごしてきましたか

何の避難命令もなく、大切な物も2階に上げる事も出来ず、6枚の食パンだけを3人で分け合い、12日の朝迄2階におりました。が、食料がなくなり9/12午前9時に坂手の体育館にへりて避難し、1晩お世話になったけど、犬が外に縛られているのが可哀そうで、姉の宅に5日お世話になり、片づけしなくてはと家に戻りました。泥だらけになったあり様を見て、冷蔵庫は横倒し、水の勢いで畳は立っていた、茶だんすの皿や器は散らばり、しかし片付けなくてはと、皆様の力を頂きながら、ゴミの袋につめ、毎日毎日疲れました。

② 生活はどことがどう変わりましたか

畳の部屋を板ばりにしたいけど、やっぱり寒く思います。車三台もだめになり、私とお父さんで軽一台にして乗っておりますが、やっぱり一台では不便の時もあります。お金は本当に大切だと思い、考えて使っております。これから先、何がおこるかわからないからね。

③ うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか

泥の中の品物を自分の家の様に片付けてくれたボランティアさんの温かい力。親戚の人、娘達一家、友達の温かいお手伝いがどれほど嬉しかった事か。車三台、家財道具、すべて失ってしまい、親の思いの嫁入り道具一式失い、思い出の色々な写真も失い、力がなくなりました。また一からやり直すと思うと細い老体には答えました。

④ 今回学んだことや教訓はどんなことですか

何の関係もない人、ボランティアさんとか、手弁当で暑い中一心に汚いものを片付けて下さった事。これからは、自分も人に対してやさしくなろう。特に私より年上の人達には大切に手をかしてやろうと思いました。

⑤ 今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか

今、私は来年の2月で72才、何が起きるか分からない時代、くれぐれも体を丈夫に保つこと。これからは、若い人達には世話はかけられないし、また若い人達も働かなくては生活できずだし、余りお金も使わないでホームに入る様に考えている。

⑥ まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか

もしまたこんな災難が来た時は、早くに合図をして、大切な物は2階に上げるとか、大切な呼びかけをしてほしい。何の知らせもなかったから。何といってもお金ですね。

⑦ 行政に望むことはなんですか

また起きてても平気なように安全な土台にしてほしい。働くことの出来ない、年金暮らしの私達なので、少しでも多くのお金を回してほしいです。

森下町の声

①9月10日から今までどうすごしてきましたか
大変な事になり、ひどい事になってしまいました。物がみんななくなってしまい、家がこわれてしまつてどうゆうふうに考えたらいいかわかりません。ただ一生懸命生きてきました。ただぼーっと体だけ働いてました。

②生活はどこがどう変わりましたか
大変わりです。少し持っていたお金がなくなつてしまつて、これからどうしたらよいのか、やっていけるところまで生きるつもりです。

③うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか
ボランティアの方、食べ物いろいろな物支援して頂きました。ありがたく心あたたまる思いでした。情性でここまでできました。頭の中前後わかりません。ぼーっとしています。

④今回学んだことや教訓はどんなことですか
苦しいのはみんな同じなので心が一つになつたような、助け合いの気が強くなつたような気がします。

⑤今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか
みんな励まし合いながらやっていきたいと思ひます。心強いと思ひます。健康に気をつけ(病氣しなければいいなと思ひています)

⑥まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思ひますか
自給自足がいいかなと思ひます。

⑦行政に望むことはなんですか
行政も大変だと思ひますが、市民を大切にしたいと思ひます。

⑧市外の人たちへのメッセージをお願いします。
水、衣類、いろいろ協力して頂きありがとございました。



森下町の声

① 9月10日から今までどうすごしてきましたか
1カ月近くは、同市内の実家ですごしました。給湯器と、キッチンは今早く納入してもらえたので、自宅に戻り、2Fで生活していました。

③ うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか

心配してくれて何十年ぶりで、電話をくれた友人知人と話しができたこと。近所の人と親しくなれたこと。小一の息子の友達家族が、家の片付けの間、面倒みてくれたこと。つらかったことは、お金の不安がつきないこと。今後の健康面など心配です。

④ 今回学んだことや教訓はどんなことですか

本当に救助が必要なのに、助けられていない。例えば、救援物資はとりに行かないと受取れないなど。情報もなく、防災放送も聞き取れない人がたくさんいたと思う。

⑤ 今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか
子供の心のケア。雨がふると不安がる為。

⑥ まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか
人が集まることだと思う。

⑦ 行政に望むことはなんですか

私のように実家や、親せきにお世話になった場合、その家に対して市から何かお礼や何か感謝を示してほしい。住んでいる所以以外の被害がどのようになっていたか、知りたい。森下公園など子供が安全にあそべる場所を戻してほしい。

⑧ 市外の人たちへのメッセージをお願いします。

自宅に水が流れ込んで、やっと被災したと思った。地震と違って時間経過がある。水の被害なので早めに対策し、避難が必要。

森下町の声

① 9月10日から今までどうすごしてきましたか
9月10日～9月31日迄実家（親類）でお世話になりました。その後家から30分～40分位の所、アパートに住んでいます。現在もそうです。来年も続きます。

② 生活はどこがどう変わりましたか
すべて変わりました。とても大変です。

③ うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか
ボランティアさん達大勢の方々に助けて頂き（片付）大変と見ていました。家が大規模半壊で大切な家財、一緒のすべての物をなくした事です。

④ 今回学んだことや教訓はどんなことですか
災害はいつ来るかわからないという事です。それ程浸水しないと思ってしまった事。大勢の方々に助けていただいた事、助け合いの大切さが身にしました。



森下町の声

① 9月10日から今までどうすごしてきましたか
3日間避難所ですごし、その後は、1週間親類の家でお世話になり、家にもどり毎日かたづけや家財、道具などをそろったりしてここまですごしてきました。

② 生活はどごがどう変わりましたか
家族の絆は深くなったと思います。

③ うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか
隣り近所の絆が深くなったと思います。

④ 今回学んだことや教訓はどんなことですか
最低限度の水、食料、衣料などを用意しとくことです。

⑤ 今後のことと考えていること、悩んでいることはなんですか
今後は健康で老後をすごすことを願っています。

⑥ まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか
金銭だと思います。

⑦ 行政に望むことはなんですか
市役所に避難したのですが、水や食品の備蓄がなかったみたいです。

⑧ 市外の人たちへのメッセージをお願いします。
皆んな元気で頑張るほかはないと思います。



森下町の声

① 9月10日から今までどうすごしてきましたか
9月末まで避難所。以後自宅にて生活。

③ うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか
ボランティアの方々に大変お世話になりました。ありがとうございました。

⑤ 今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか
自宅のリフォーム。



森下町の声

① 9月10日から今までどうすごしてきましたか

9月11日に二階のベランダからヘリコプターで助けられ守谷の中学校の体育館に避難。その後同じく守谷のまなびの里に移り、協同生活に耐えられなくなり自宅のリビング、トイレ、お風呂がなんとか使える様になったので戻る事にして今に至っています。

② 生活はどことがどう変わりましたか

自宅に在る事が多くなり、唯一使えるリビングに夫婦がいつもいるとささいな事でもめたりすることも多くなりました。

③ うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか

災害にあったあとに親類や友人達からの助けやボランティアさんの助けで、割と早く家具類、電化製品その他がたずけられた事。母が病院に入院していて自宅がひどい状態だったので帰してもらう訳にもいかずそのまま10月末亡くなった事

④ 今回学んだことや教訓はどんなことですか

中央大学の学生さんが来てハザードマップは知っていたのか？とか言われましたがハザードマップの名前は知っていてもどこにあるのか。たぶん市役所でしようけど知っておくことも大切だと思います。それと避難場所の位置、橋本の入達は海道二高や市役所に避難してひどい目にあった人もたくさんいましたから。

⑤ 今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか

住宅の修理リフォームにどのくらいの費用がかかるのか？私達は収入は年金しかなく、それも国民年金なのでもう少し補助があると助かります。

⑥ まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか

今は個人のくらしでせいっぱいの状態なのでそこまで考えられませんが、一人一人が明るい気持ちになって、前向きになって近くで困ってる人の助けになった

⑦ 行政に望むことはなんですか

今度の災害でかなりの被害が出ましたがまだまだ復興にはほど遠い所もあるので国の方にも働きかけて補助を貰って欲しい。常総を忘れないで欲しい。

⑧ 市外の人たちへのメッセージをお願いします。

避難先では食事の提供や衣類等の配布等数しれず助けていただきました。ボランティアの人達の助けには頭が下がります。それと今でも色々送って下さる人がいる場所で物資を貰えるのはありがたいです。電気毛布ありがとうございます。

森下町の声

①9月10日から今までどうすごしてきましたか
はじめの一週間は義父母や私の実家ですごしました。9月末から大東さんより無償のアパートをおかりしました。その時の安心した気もちは今も忘れません。通勤時間は保育所の送りを含め片道1時間。大変でした。

②生活はどこが変わりましたか
通勤距離時間が倍以上になりました。子どもが不安定で涙したりイライラしたりと少し心配になりました。実家からさらに遠くなったため、頼ることができず苦労しました。

③うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか
みなさんを始めとしてたくさんの方々が家に来てお手伝いしてくれたこと。遠方から心配の電話があったこと。家族とのきずなを感じたことです。つらかったことは家をみた時のことです。汚れた家、悪臭。娘のおひなさま。はご板が泥まみれになったことです。周りの環境もかわりました。人が少なくなり、空き家が増え…それをみると悲しくなります。

④今回学んだことや教訓はどんなことですか
避難指示がでた時は二階に大切なものを入れておくようにします。(甘くみないで)

⑤今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか
保険のみなおし
壁や庭の手入れ

⑥まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか
お年寄りが住む家、退職寸前の方など。お金をかりることがなかなか難しい方をサポートしてほしい。収入源(働く場所が水害でなくなった)がない世帯へのサポート。

⑦行政に望むことはなんですか
全壊の方へのご支援。もう少し...(私のうちは大規模ですが...)

⑧市外の人たちへのメッセージをお願いします。
たくさんのお手つだい、ご支援ありがとうございます。水害にあった土地の近辺でもこの災害に対し意識が低い方もいらっしゃいます。この大変さを忘れたくないです。

橋本町の声

① 9月10日から今までどうすごしてきましたか

9月10日1時40分頃市役所に2夜二階の廊下に毛布1枚で寝てました。12日朝からあすなろの里に移動の話が出ましたが車がどこから出るのか受付で聞いてもわからず、結局あすなろに着いたのは午後2時でした。あすなろでは、あたたかいごはんにお風呂も入れて生き返りました。支援の着るものももらえて着替えもできました。市役所にいたら殺されたような感じです。11月30日まであすなろの里でお世話になりとてもありがたかったです。大塚戸のボランティアの皆さんには大変お世話になりました。

② 生活はどのように変わりましたか

車が市役所で水没してしまい移動手段もなくなり自宅も床上180cmになり帰る家もなくなりました。いままでやれていたボランティア(シルバークラブ)等がやれなくなり、シルバークラブの活動もできなくなりました。

③ うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか

友達からの支援(衣類、炊飯ジャー、せんたく機、冷蔵庫)がといたこと、たすけあいセンター(ジュントス)からのガスコンロ、ラジオ、電気毛布等もらったこと、ボランティアセンターからの電子レンジやざぶとんをいただいたこと等とてもうれしかったです。看護師さんたちが交代でしてくれたこととても力になりました。つらかったことは市職員につめたくされたこと。

④ 今回学んだことや教訓はどんなことですか

市役所の職員の中にはつめたくつづけんどの人もいました。「この人達早くいなくなればいいのにね」と言っていた人もいました。電話がつながらないとき、ケイタイをかくれて番号も調べてくれた人もいました。とてもうれしく職員だから悪いという思い込みはいけないと思いました。

⑤ 今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか
早く元の生活にもどりたい。

⑥ まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか
地域によって違うと思いますが、住民同士のコミュニケーションがとれるようになればいいとおもいます。

⑦ 行政に望むことはなんですか

市役所に避難して水没した車等の全額とは言えませんがせめて半分ぐらいは補償してもらいたい。天災だけでなく人災もあり、報道は若宮戸と三坂町しかしてませんが八間堀のことを書いてくれたのは東京新聞(10月23日)、朝日新聞(11月26日)だけです。これからもしっかりと国、県、市と二度とこのようなことが起きないようにしてもらいたいです。

⑧ 市外の人たちへのメッセージをお願いします。

いろいろ支援していただきとても助かりました。ありがとうございました。皆さんも体に気をつけて元気でお会いしたいです。

橋本町の声

①9月10日から今までどうすごしてきましたか
運動公園の体育館に避難をし、その後身内の家に行きました。身内の家には2か月お世話になりながら、自宅をボランティアさんたちと撤去をし、県営アパートを用意してもらい住んでいます。

②生活はどうが変わりましたか

車が市役所で水没してしまい移動手段もなくなり自宅も床上180cmになり帰る家もなくなりました。いままでやれていたボランティア(シルバリーハビリー体操)等がやれなくなり、シルバークラブの活動もできなくなりました。

③うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか

ボランティアさん、友人達、親類の助けがなによりうれしかったです。近所の方々とのつながりもより深くなりました。つらかったのはなかなか進まない片付けです。何度も何度も洗浄し、消毒するのはしてない繰り返しでいまだに先が見えていません。しかし、終わりのない片付けはありません。今後同様な事が他の地域で起こったら今のバトンをパスしてつなげていきたいです。

④今回学んだことや教訓はどんなことですか

普段避難所の確認や家族での集合場所などは話し合っていましたがいざとなると思っている避難所は水害の場合使えないことがその時初めてわかりました。もう一度確認が必要だと思っています。また今回の水害はハザードマップやシミュレーション通りだったと聞いています。その存在さえも知らなかったので今後は注意していきたいです。

⑤今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか

リフォームに1千万円以上かかり取り急ぎの応急処置をいたしますが、不完全な状態に変わりありません。健康で健全な生活の戻れるのかとても不安です。

⑥まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか

だいたい人が少なくなつたように思います。このように少ない人数で復興できるのか疑問です。離れていく事がないように市で援助をしてほしいです。

⑦行政に望むことはなんですか

市の司令塔が水没では話になりません。ボランティアの人々のアドバイスをもっと聞いて動いてほしいです!!。こういう災害は初めて経験することだと思おうのでプロのアドバイザーをもっと真剣に聞いてほしい。私はインターネットから情報を得ることができましたが防災無線は何を言っているのかわからず、必要な物資が必要な時に届きませんでした。

⑧市外の人たちへのメッセージをお願いします。

全国から何かしたいとボランティアに参加してくれた事は本当に頭が下がる思いでした。次は私の番だと思っています。被災したからこそ分かる思いや今後必要になる物が分かっているのだからそれを返していきたいです。本当にこれは「バトン」で、バトンパスしてこそやっと本当の意味での復興になると思います。

橋本町の声

① 9月10日から今までどうすごしてきましたか
あすなろに一時的に避難して、皆様に大変よくしてもらいました。

② 生活はどこがどう変わりましたか

避難所と自宅を毎日往復して、ボランティアの皆様に温かい接し方に感謝しています。

③ うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか

ボランティアの皆様に感謝しています。家電製品がすべてなくなりました。

④ 今回学んだことや教訓はどんなことですか

人に助けられ、有難さと人様の人情が身に染みました。

⑤ 今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか

お父さんと私しが病気が多いため、病院に行く事が大変です。

⑥ まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか

再生には被害の程度の差があるが、常総市にがんばってもらいたいです。

⑦ 行政に望むことはなんですか

また洪水がおきないようにしてほしい。

⑧ 市外の人たちへのメッセージをお願いします。

ボランティアさんに手伝っていただいて、大変助かりました。有難うございました。



橋本町の声

① 9月10日から今までどうすごしてきましたか
9／11～10／10まで筑波未来総合体育館、10／10～12／1まできぬふれあいセンター、12／1～12／21まで水海道森下町4458-2東荘A104

② 生活はどこがどう変わりましたか
自分の財産など全てなくなり、新しくなりました。

③ うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか
ふれあいセンターで夕食に出る温かいみそ汁と一品のおかず。つらかったことは、集団生活。

④ 今回学んだことや教訓はどんなことですか
世の中、独りでは生きていけない。助け合いの心、思いやり。

⑤ 今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか
市営住宅ですが、室内は入居できましたが、外観はそのままなので汚れがひどいので、なんとかして欲しいです。

⑥ まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか
災害者全員にいきたる様な情報を流してほしい。独居生活では、取り残されてしまう。

⑦ 行政に望むことはなんですか
義支援、見舞金をわかりやすく、早くほしい。

⑧ 市外の人たちへのメッセージをお願いします。
市外のボランティアしておられる方々、寒中大変だと思いますが、数が少なくなっていると聞きます。どうか頑張ってください。よろしく願います。

橋本町の声

① 9月10日から今までどうす「してきましたか」
当日は深夜に避難しました、最初の40日間は親類にお世話になっていました。県・役所のあつ旋により抽選で公営住宅に入居でき、早や70日が過ぎようとしています、被災自宅の片付け清掃等をする毎日です。往復35km

② 生活はどこがどう変わりましたか
想像できない状態です。すべてが無になつてしまい放心状態でした。リサイクルショップで、中古家具・食器・衣類等を調達している心細い生活ですが、「たすけあいセンター」の人たち、「つくばサテライト」の方々に勇気をいただき、「ご支援により気丈になつて参りました。大変感謝しております。

③ うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか
市の防災無線が聞き取りにくく、情報はほとんど得ることができませんでしたが、ボランティアの方々の応援でへっ口の掻きだし集積、窓ガラス掃除等をやつて頂き大助かりしました。また、買い物に行く自転車をも「たすけあいセンター」様から調達していただき家内が大いに重宝しております。感謝！感謝です。ありがとうございました。

④ 今回学んだことや教訓はどんなことですか
「人様の面倒をみることに。他人様に迷惑をかけない」を理想としておりましたが、逆転してしまい人の温情をこれほど実感したことはありませんでした。70代半ばになつてしまいましたが、再起し、恩返しをしなければと痛感しております。

⑤ 今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか
50年間住み慣れた常総ですが、再度の水災害が心配です。住む場所を決められない状態です。

⑥ まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか
この地（被災場所）で再生活が安心して可能かどうか心配です。

⑦ 行政に望むことはなんですか
緊急時の対応が、なされていないのは、人間だから無理かな？市の財政は厳しいらしい。まだまだ避難者が、多くいることを忘れないでください。国政は、国民のために予算配分を最優先に考慮して欲しい。多額の海外援助・融資は疑問が多いが、お付き合いは無理かな

⑧ 市外の人たちへのメッセージをお願いします。
公営住宅に入居できて2か月が過ぎました。自治会会長・棟幹事はじめみなさんにご心配いただいておりますが、清掃作業の行事に参加した際も親切に接して頂きました。何か月間お世話になるか予想もできませんが、できる限りの協力をしたいと考えております。

天満町の声

① 9月10日から今までどうすごしてきましたか

9月10日の夕方には舟にて青年部?の方々に助けていただき、天満町公民館にて非常な不安な気持ちで過ごしました。9月11日には埼玉所沢より、長男が迎えに来て呉れて所沢に行きました。それから10日前後長男と一緒に当地にもどり家の中の後片付け等々の毎日でした。次男も静岡より来て呉れて守谷にホテルに連泊しながら一緒に跡片付け等々、2人共会社を休み私共老夫婦の手助けを本当に本当に良く手伝って呉れました。(参考に私夫は79才で妻は75才)。ボランティアの方には何の御手伝いもお願ひしませんでした。

② 生活はどうが変わりましたか

ヒナン所より自分の家に車にて行き帰りすると云う何か現実がつかめませんでした。

③ うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか

うれしかった事のほうが多くつらかった事はありません。それは多数の、それぞれの立場と、それぞれのプロの立場からヒナン所にて声をかけて下さったからです。そして今現在もこの様にして心配して下さっているからです。感謝の気持ちでいっぱいです。

④ 今回学んだことや教訓はどんなことですか

過去現在将来共に人間関係の大事さをより以上に身にしみた事はありません。

⑤ 今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか

① 現状が現状なので考えが及ばない

② 悩んでいることは少しの雨でもユカ下に水がたまってしまう事です(この住宅に入った時からです)。

⑥ まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか

① 再生は町の中に、むずかしい事だが、映画館を作る事と町の中とその近くを大型バスではなく10〜15人位乗れるバスを30分〜1時間の間に一本位走らせる事も必要と思う。

③ 川を利用しカンコウを利用する方法等々です。(2つの大きな川があるので)

② 市のイメージとしては暗い。もっと明るい面を前面に出すのも必要と思う。

⑦ 行政に望むことはなんですか

① 町及びその辺りのゴミの捨てられてる現状を見るといかにポイ捨てが多いか分ると思います。たとえばコンビニの袋?そして空カン、弁当箱等を車の窓から捨てる等々(モラルの問題もあると思うが)これらの多々ある事を市単独の法律を行政で作リアピールできないものかと思う。私個人では思うのですが本当に町中とその周辺はゴミできたない町と思う。美しい町、たのしい町を望む一市民です。

⑧ 市外の人たちへのメッセージをお願いします。

① 一回でも良いから美しい町、たのしい町、そしてきれいな川が2本もある町。千姫さまに関連するお寺等で見てごろいっぱいある町常総市を見に来てほしいと思います。

淵頭町の声

① 9月10日から今までどうすごしてきましたか
市役所に避難して、ものすごい人だけでびっくりしました。市役所には2週間ぐらいいました。

② 生活はどこがどう変わりましたか
生きてることが一番です。これから1日1日を大事に生きてゆきます。

③ うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか
つらかったことは、やはり人間関係です。一人ひとり違うので合わせてゆくのが一番大変です。

④ 今回学んだことや教訓はどんなことですか
食べ物もそうですけど水や食事は一番大変です。私は年中かぜをひいて、とてもみんな元気なのでうらやましかったです。

⑤ 今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか
私は一人なので健康に特に気をつけています。

⑥ まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか
まずは、水道水が安全に飲めるようにしてほしいです。

⑦ 行政に望むことはなんですか
一日も早くもとの生活にもどれるようにしてほしいです。帰れない人がたくさんいます。早く帰れるようにしてほしいです。

⑧ 市外の人たちへのメッセージをお願いします。
帰るのが遅れている人がたくさんいます。けんこうに気をつけて1日も早く帰るようにがんばってください。

大生の声

① 9月10日から今までどうすごしてきましたか
知り合いの家に世話になりました。生活用品がなくなかったので、支援物資がどこにあるのかわからず、市役所にあることを知ってから、少しずつ何とか準備することができました。住む場所が決定しても何もないので不安でいっぱいでした。

② 生活はどことがどう変わりましたか
家族がバラバラになり、何もかもなくし、一人になり、話し相手もなく、寂しい夜を過ごすことになりました。何となく不安です。

③ うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか
当初は、何をどうしていいかわからず、市役所に行っても相談にのってもらえず、また生活するために一から準備するのにお金がなく、泣いてもいられない日々でした。社会福祉課が動き出して話を聞いて相談にのってくれるようになったときは嬉しかったです。NPOさんのことも12月に入ってから聞きました。

④ 今回学んだことや教訓はどんなことですか
何も考えられませんが、役所は決まったことだけすればいい所なんだと思った。お金がないと何もできない。お見舞いをくれた方々、NPOの方々に感謝です。これからも宜しくお願い致します。

⑤ 今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか
これから春・夏を迎えるにあたり、まだまだ準備しなくてはならないと思うと頭が痛いです。

⑥ まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか
公共の復興は早いかもしれないが、各家庭のこと県・国は考えてほしいです。

⑦ 行政に望むことはなんですか
私たちは無知なんです。だから相談に行くんです。それなのに、知らない・できない・教えられないの返事はないと思います。課によって対応の違い、返事の違いはないと思います。マニュアルで返事をする、そんなことは市民は知りません。

⑧ 市外の人たちへのメッセージをお願いします。
子どもがゴムボートで救出されました。本当にお世話になりました。これからもご支援をよろしくお願い致します。私自身でもできることはやっていきたいと思っています。

大生の声

① 9月10日から今までどうすごしてきましたか
避難所から友人宅、親類宅を経てアパートに移る。年越しは自宅での思いから工事途中だが年末には二階に戻る予定。

② 生活はどことがどう変わりましたか
すべてが変化。手を洗ってもふくものがない、逃げた時にはいていた靴しかない、など当たり前にあったものが手元になく、不自由。

③ うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか
近所のつながり、人とのつながりのありがたさ、の反面冷たさも。市役所でも事務的だし、職場でも他人事、わからない人にはわからないのだろう。

④ 今回学んだことや教訓はどんなことですか
人の助けは遠慮なく受け、その分出来ることは返す

⑤ まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか
適切な援助ー行政は現場をもつと見るべき
支援の受け方にもマナーを持つて

⑥ 行政に望むことはなんですか
現場、声を聞く、机上論では進まない

⑦ 市外の人たちへのメッセージをお願いします。
遠くから手を差し伸べて下さったすべての人々に感謝申し上げます。



大生の声

① 9月10日から今までどうすごしてきましたか
家の2階で過ごした。

② 生活はどこがどう変わりましたか
仕事ができなくて困った。夜中に1回目が覚める。

③ うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか
ボランティアの方々がとてもよく手伝ってくれてやっと住めるようになった。

④ 今回学んだことや教訓はどんなことですか
いつもの備えをしておくこと。家族の絆が大切。

⑤ 今後のことと考えていること、悩んでいることはなんですか
住民が少なくなり、仕事が少なくなった。

⑥ まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか
安心して住める町、もっとオープンで何でもわかるとよい。人と人とのつながりを深める

⑦ 行政に望むことはなんですか
早く人々が戻って生活できるようにしたい。

⑧ 市外の人たちへのメッセージをお願いします。
必要なもの、必要な作業をきちんとみんなの声をきいて行動してほしい。



大生の声

① 9月10日から今までどうすごしてきましたか
親せき宅（1か月）→アパート（2か月）

② 生活はどこがどう変わりましたか
食生活、時間帯、精神的不安定

③ うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか

・自宅が半壊したこと
・避難先で自車がイタズラされたこと
・いろんな方（友人、ボランティア）からたくさんのお手伝い、お見舞い、励ましの言葉を頂いたこと

④ 今回学んだことや教訓はどんなことですか

自宅の一階に、いろんな「ストック」（食料・日用品）がありました。これらは以前の震災の教訓としてのストックだったのですが、一階のストックが水ですべてダメになりました。「ストック」っていかなものなのか？と思いました。つまり、「ストック」は二階に運ぶべきなのでしょうね！

⑤ 今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか

自宅を床下から、専門業者に消毒からリフォームとすべて行いましたが、大丈夫なの？

⑥ まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか

1. 人口流出を防ぐこと
2. 減税
3. 公的サービスのじゅう実 etc

⑦ 行政に望むことはなんですか

今回のことで、私はものすごく、行政に対して不信感を持っている！

⑧ 市外の人たちへのメッセージをお願いします。

復興には時間とお金がかかる以上にメンタルな部分でダメージが多きい。それがフィジカルダメージへと移降していくのでしよう…。私も主人も9/10あとに、「がくかんせつ症」になりました。私の知り合いは大腸にポリプが見つかったそうです。以上

今日はボランティアラマーメンありがとうございます。

大生の声

① 9月10日から今までどうすごしてきましたか
避難所で過ごしてきました。今まで3回変わりました。

② 生活はどうかどう変わりましたか
今迄家で過ごしていたのが、共同生活になり食事など皆と同じになった。

③ うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか
避難者同志で話せることが良かった。
家の物全部なくなってしまった事がつらかった。

④ 今回学んだことや教訓はどんなことですか
必要以上に品物を増やさない事

⑤ 今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか
すぐ必要な物を揃えること

⑥ まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか
空き家をなくしてもらいたい
店を増やして人を集める

⑦ 行政に望むことはなんですか
二度と災害を起こさないように堤防をしっかり直して管理してもらいたい

⑧ 市外の人たちへのメッセージをお願いします。
全国からのボランティアさんに手伝っていただいて大変助かりました。有難うございました。



大生の声

①9月10日から今までどうすごしてきましたか

9月10日(木)午後3時つくば市の豊岡支援センターに避難

10~7(水)常総市石下総合体育館に2次避難、

11~18(水)避難先より自宅に戻る。自宅は一間を修理し寝ることを優先に考え風呂も使えるようにしてもらった。トイレ、キッチン、使用できず卓上ガスコンロで料理、朝食はパン、昼食はスーパの弁当、夕食は知人親戚からの炊き出しで生活。時々、昼食はボランティアの炊き出しを利用している。栄養バランスがくずれ、風邪をひき、血圧が高くなった。

②生活はどことがどう変わりましたか

衣類・寝具・食器・電化製品・キッチン・エコキュート等すべて水害により被災。生活のすべてを失いました。1日にして天国から地獄へ突き落とされた気持ちです。自宅があるのに帰ってきて住めない...ということが現実としてなかなか受け入れられなかった。避難生活は報道で知っていたが自分がその立場になるとは思ってた。生活は「0」からのスタートで大きく変わりました。

③うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか

避難所でお互いに共通の苦労・悩みなどにより友達ができ、避難所を運営している市職員の献身的な奉仕に感謝しました。特に朝昼夕食等(コンビニ)3食の食事を用意してくれたこと、及びボランティアによる炊き出し(あたたかい食事)には特にうれしかったです。避難先は由香はビニールに毛布1枚当初)なので寝るのがつらかった。風呂のサービスも当初は無料でした。1か月後に有料になり経済的にもきつかった。プライバシーが守られず寝るところはイビキ・よこ話・声が多く寝不足になった。

④今回学んだことや教訓はどんなことですか

今回の自然災害は防ぎようはないと思うが、いざという事は再建するための準備金の一部になる火災保険の付保、特に風水害が保障される保険が必要である。特に保険の付保は時々見直す必要がある。

・避難は早めの避難が重要である→それには災害情報の共有
過去の経験は通用しないということを再認識をもちました。

⑤今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか

新聞に書いてありましたが、鬼怒川の堤防整備率が全体で43%茨城県内は17%と上流は整備率が高く、下流は低いのはなぜか?下流の整備率が低いので堤防が決壊したのではないかとまさしく国交省の怠慢が原因だと思っています。今回の水害は戦災ではなく人災だと(栃木県の知事発信)思いますが、今後も再発する可能性が十分あると思います。もし再発したなら再建は無理と判断。水海道地区外に住まざるを得ない。

⑥まちやくらしの再生、復興に必要なことはなんだと思いますか

商・工・市民への再建復興のためには、もっと手厚い国・県・市からの金額補助が第一と考えます。今回の種々の補助金では再建するための金額では不十分。商産及び中小企業などは高齢化及び不況などで苦しんでいるので、金額で援助し「力」づけをしてほしい。

⑦行政に望むことはなんですか

安心で安全な常総市を作してほしい
水害はもうこりこり2度と起こしてほしくない
むかしは商業の水海道を再建してほしい

⑧市外の人たちへのメッセージをお願いします。

ボランティアによるあったかい炊き出し、生活物資の配給および義援金寄付金等ありがとうございます。再建中ですが必ず元の生活に戻り笑顔を取り返します。

大生の声

①9月10日から今までどうすごしてきましたか
9月10日につくばの避難所へ行き、その後親せき宅へお世話になり、長引くことが分かったので、両親は壊れたままの家で、子供と私たちはとりあえず小さな部屋を借りました。今現在もその状態です。

②生活はどこがどう変わりましたか

・家族がバラバラに住んでいます。
・両親のところは水周りが壊れたままなので不便です。
・壁、床をはがしたままなのですごく寒いです。↓体調を崩しやすくなりました。
・物がほとんどなくなりました。
・他の人には普通に生活しているように思われているが、家族全体不便な生活が続いている。

③うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか

家はかなりの高さで水が入り三、四日水に浸かっていたので悪臭で酷いうえ一階で生活をほとんどしたので生活用品がすべて駄目になりました。その状態を初めて見たときはどうしていいかわからなくなりましたが、沢山の親戚・友人・ボランティアさんが片付けを手伝ってくださったり、自分のことのように一生懸命動いているのを見て、自分もやっていたといけないう気になりました。皆さんに助けてもらったことが嬉しかったです。つらかったことは井戸水しかなくてそれも壊れていたのでもう片付けられなくひどい状態になった。

④今回学んだことや教訓はどんなことですか
洪水が起きそうになったときは油断しない。早めに災害に備えて準備する。

⑤今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか
また洪水がきた時に家をどうしていくか悩む、子供たちに何度も同じ思いをさせたくない。

⑥まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか
・安心して住めるようにサポートしてほしいです。
・難しいとは思いますが、人が集まるような大きな事業を誘致して活気ある町にすることで復興につながると思います。常総市に住んでいるメリットを感じたいです。

⑦行政に望むことはなんですか

・また洪水がおきないようにしてほしい
・洪水被害はとなりどうしでも違いがあります↓(右下の方は水がすぐひいたが水海道の一部は何日も水に浸かり、片付けもかなり遅くなりました) 支援物資のゴミ袋を売っているところまでいって買うか、ツイッターであげてくださいとのことなので一時困りました。
・決壊した所はもちろんまた洪水がきた時も同じようなところが浸水被害がひどいと思います。次はそれを考慮して時間差で片付けがあることと、水が高い所まで入ってしまった所へ個別対応をしてほしいと思います。片付けが終わらない所は精神的負担が大きいです。国の機関の浸水データ等参考にして次の対策を立ててほしい。

⑧市外の人たちへのメッセージをお願いします。
避難所の提供やボランティアの方々には本当に感謝しています。現在も普通に生活しているように見えてもまだまだもとの生活にもどるのに時間がかかっています。普段他の人に大変だとは言いつらいですが、支援を今だ続けていただいていることにさらに感謝しています。ありがとうございます。

大生の声

① 9月10日から今までどうすごしてきましたか
避難所でお世話になりました。

② 生活はどこがどう変わりましたか
今迄の普通の生活が出来なくなり社会情勢がわからなかった。

③ うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか
避難所で食事を戴き、市の職員の方、保健師さん達に色々心配して頂き、嬉しかったです。
家のものが全部災害により、無くなったことが本当に、つらかったです。

④ 今回学んだことや教訓はどんなことですか
避難生活で色々な人達と交流でき色々な人達の考えが勉強になりました。

⑤ 今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか
出来るだけ、趣味を見つけ、フオーキングなどして体をきたえ、元気に過ごそうと思います。

⑥ まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか
商業を増やし、町を活性化させることです。

⑦ 行政に望むことはなんですか
一日も早く堤防を直して頂き二度とこのような災害が起きないよう切に望みます。

⑧ 市外の人たちへのメッセージをお願いします。
全国からボランティアの人達が来て手伝って頂き本当に助かりました。心から感謝しております。

大生の声

① 9月10日から今までどうすごしてきましたか
5日間は娘の所に避難していた。家に戻れる様になってからは片付けをしながら2階で寝て、なんとか暮らしていた。食事をつくることも出来ないの、実家、友人、ボランティアの人達に助けてもらいながら買って来たものですませた。3ヶ月以上もなので身体の心配も出て来ている。

② 生活はどこがどう変わりましたか
細かい物から何もかも失い、漬物タル、重石、アイロン等、主婦としてやるべき事が何も出来ない。

③ うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか
思いもかけない人から電話、見舞、など会社の人達、サークル仲間の人達にはげまされた。つらかった事、思い出の品々、写真等、今まで40年以上かけて買い求めた物、すべて失った。カラオケをやっているが、9月10日以来、2ヶ月間、歌を聞く事、声を出して歌うことが出来なかった。

④ 今回学んだことや教訓はどんなことですか
ボランティアの人達に頭が下がる。

⑦ 行政に望むことはなんですか
市役所の人達が、残業、時間外労働等で給料100万だと言っていることを聞いた。そんな事だからいつになっても先に出ないのでは、ボランティアの人達はお金をもらっていますか？



大生の声

①9月10日から今までどうすごしてきましたか
9月10日から18日まで豊里交流センターの避難所で生活。9月18日夜に泥棒に入られ2階が荒らされたため自宅生活は無理があったが、現在まで自宅で生活しています。自宅の整理は9月14日から始め、1週間で1階部分の整理を終了した。その後、外周辺の整理及び改修業者との打ち合わせ、自宅で生活するための最小限の電気製品を購入し、電子レンジ中心の生活をしています。

②生活はどこがどう変わりましたか
自宅は、最初に風呂が入れるように改修を急いでもらい、9月28日に完了した。それまでは毎日夕方に近くのスポーツセンターなどの風呂に入りに行き、家ではただ寝るだけの生活が長く続き、毎日家の整理等が長く続き、非常に疲れた。このような非日常生活が長く続き、精神的に落ち込み、夜も寝れない日があった。

③うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか
今回、災害で1階部分が全滅したため、たくさんさんの義援物資を頂いたことやボランティアさんの手助けは、非常に有難く感謝しています。また、復興にあたりかい改修資金について足りるだろうか等、資金面について不安があり、今後、年金生活者としてやっていけるかどうか不安の毎日です。今回の災害で、特に友人が入れ替わりに激励と手助けしてくれ、本当に有難く思っています。

④今回学んだことや教訓はどんなことですか
今回の災害で、正確な情報をどのように収集するか、避難時期の選択は何を基準にするか。また、防災組織を作り、訓練を実施したにも関わらず、組織を活用した住民同士の連携ができなかったことは、非常に残念であった。こういう災害時における区長を中心とした組織だった連絡体制を作り上げる必要性を痛感しました。

⑤今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか
改修費用の捻出。災害に伴う精神的痛みが残っていること。町会員がすべて戻ってくるのか。今まで野菜作りをして自給自足の生活を目指してきたが、耕運機が使用できなくなり、新規に買ってまで野菜作りをやるか。趣味の1つがなくなりそうで今後の生活が不安。今まで介護予防に係わるボランティアをやってきたが、引き続きやれるかどうか気持ちが消極的になっている自分がいる。

⑥まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか
再生には、やはり改修するための資金。災害された方々には、一律に対応できないと思いますが、特に独居老人には手厚い待護の手を差し伸べて、安心できるようにして頂きたい。被害の程度の差があるが、被害の大きい家では再生するため常総市外に転移しないような対策を考えてほしい。今後も安全を最優先にした行政施策を策定し実行してもらいたい。

⑦行政に望むことはなんですか
できる限りの資金補助。住民が転居しないための方策を考えてもらいたい。災害に対する住民への情報提供の在り方。今回の災害では、特に防災無線による情報提供をしたようであるが、よく聞き取りにくかった等の意見が多く聞かれたので、防災無線での広報を同時に区長への連絡により、各町会員に情報が速やかに伝わると思われる。

⑧市外の人たちへのメッセージをお願いします。
今回の災害に対し、多くの方々から義援金及び災害物資を配布していただき、深く感謝しております。又多くのボランティアの方々の支援をいただき、到底家族だけでは整理できなかったことが、非常に早く家の屋内外整理ができました。本当にありがとうございます。今後は、お世話になったおれはどうすればお返しができるか、考えていきたいと思っています。

大生の声

① 9月10日から今までどうすごしてきましたか
ボランティア活動に協力しつつ自分の仕事、又地域の連絡、そのほかボランティアのニーズひろい。

② 生活はどこがどう変わりましたか
生活は9月中は親類の家での避難生活。そして毎日かたづけ。

③ うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか
ボランティアの皆様の協力が本当にありがたかった。そしてうれしかった。被害があまりにも大きい(金額的)のでがっかり。でも逆くに頑張れたと思います。

④ 今回学んだことや教訓はどんなことですか
かたづけや、避難などは常々考えること。早めに実施。本当にボランティアの皆様のおかげで次の機会には参加して見たいと思う。

⑤ 今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか
町内が活気がなく、機会をもうけて頑張れる様にして行く事です。

⑥ まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか
人々が安心して居られる事
仕事がある事
皆さんが協力しあう事が出来る様にしたい

⑦ 行政に望むことはなんですか
まず身近な問題(ゴミ)を解決して頂きたい。住民と行政で話し合う機会をつくる事。行政も初めての事なので、改めても無理。首長も近隣の首長さんとのコミュニケーションがなかった気がする。

⑧ 市外の人たちへのメッセージをお願いします。
温かい言葉で皆様を励まして下さい。

大生の声

①9月10日から今までどうすごしてきましたか
避難先は谷田部総合体育館↓きらくやま↓伊奈総合運動公園↓あすなろの里↓親せき宅 八千代町↓森下 と転々としています
基本的には会社に出勤していますが、休日は自宅リフォームの打合せ・片付けなどです。

②生活はどこがどう変わりましたか
朝は出勤前に自宅に寄るので早起きになりました。
被災した知人とは、情報交換するなど、まめに連絡をとっていますが、それ以外の知人とはほとんど連絡していません

③うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか
うれしかったこと
・室内がドロ水で汚れているとき、駆けつけてきて家財・ゴミの処分や水洗いしてくれた人がいた
ボランティアのさんが大変な作業（とてもきたない作業）をしてくれた
多くの人に親切にしてもらった
つらかったこと
・避難所移動のとき、午後5時までに移動して下さいと言われ、早退して3時に行ったら荷物を片付けされていた。貴重品やなくなつた物などはなかったが、早く出て行って欲しいのかと思いきい気持ちになつた
・又別の避難所で、管理者のあいさつで「早く自立できるように」と言われた
・市役所に、支援制度の事を聞きに行ったら「×切まで時間あるから大丈夫」と言われたが、私は間に合わなくなるのを心配したわけではなく、早くお金が欲しかったのでみじめな気持ちだった

④今回学んだことや教訓はどんなことですか
早めに避難すること
遅れたら無理しないで助けを待つこと
※私は逃げ遅れてしまい、夜中に避難したのでおぼれそうになつた

⑤今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか
あと2〜3週間を取り急ぎのリフォームが終わるが、住宅ローンに加えて、今回のリフォームローンがプラスされ今後の生活費に影響してくる

⑦行政に望むことはなんですか
今後同じような事があつた場合、避難指示や支援制度を私たちに早く正確に伝える方法を考えてもらいたい。
放送、ネットでは全員に伝わらないし、外出していたらわからない
宣伝カーを出すとか、町内会の中で、連絡する人を数人決めておくとか

⑧市外の人たちへのメッセージをお願いします。
自宅に帰れない人、不自由な人、亡くなった人、困っている人がたくさんいる事を忘れないようにしたいと思います。
私はもうすぐリフォームした自宅に戻ります。お見舞いいただいた方とパーティーすると思いますが忘れないようにします。
大勢のボランティアさん、たくさんの方々のおかげでもらいました。ありがとうございました。

大生の声

① 9月10日から今までどうすごしてきましたか
知人宅にお世話になりながら自宅の片付け公共施設の片付けし3ヶ月が過ぎてしまった。

② 生活はどこがどう変わりましたか
今迄創り上げた物を失い、一からスタートである。

③ うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか
・知人が宿泊を受け入れてくれた事に感謝しています。
・つらかった事は3ヶ月自宅で生活できなかった事と思いい出の品を失った事です。

④ 今回学んだことや教訓はどんなことですか
ボランティアさんの考え方の素晴らしさと助け合いの精神です。

⑤ 今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか
自宅の修理等の出費で老後の生活が不安である。

⑥ まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか
安全安心を最優先に考え再生してもらいたい

⑦ 行政に望むことはなんですか
もともと災害に対しコミュニケーション等で対応してほしい。今回の水害では対策が一本化しておらず市民が不安に思い不信感をあらわしている

⑧ 市外の人たちへのメッセージをお願いします。
これからの時期、もつと大変になります(寒さが厳しい)体を大切にして乗り越えましょう。あせらず一步一步明日に向け前進しましょう。



大生の声

① 9月10日から今までどうすごしてきましたか
避難所から親戚と自宅の2階を使ってあつという間の一か月がすぎ、その後自宅の2階長屋を使って不自由な生活をしています。

② 生活はどことがどう変わりましたか
早寝早起きの生活スタイルになったが夜中に何回か目が覚めるようになりました。

③ うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか
親せきや友人に手伝ってもらったり励まされたことはうれしかったし、ありがたかったが思い出のものが水びたしになってしまったことが残念です。

④ 今回学んだことや教訓はどんなことですか
まだ元の生活に戻れないのでゆっくり考えることはないが早めの準備非難すること

⑤ 今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか
まだ元の生活に戻れないのでゆっくり考えることはないが早めの準備非難すること

⑥ まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか
近所との協力連携すること
自分のふるさとを愛すること

⑦ 行政に望むことはなんですか
防災無線がきちんとどこでもいつでも聞こえるようにすること(無線で言っても聞きとれないことがほとんどでした)
連絡など早めにする事

⑧ 市外の人たちへのメッセージをお願いします。
ボランティアの方や支援物資などどうもありがとうございます。大変助かりました。これからも見守ってください。

大生の声

①9月10日から今までどうすごしてきましたか
たくさんの人達にささえていただき感謝でいっぱいです。元の生活、ドロ水、2mにのみこまれる前の私なりの生活です。命だけは助かりました。買い物にあげられる毎日です。何も残っていないのですから。はいてにげた時の赤いくつ1足。ハンドバック。もってにげた時のものひとつだけ。どこに出かけてもいろいろ買わなくてはなりません。今日の日まで、良くここまで生活できるようになった。自分のことをほめてあげたい。まだまだ、心の中が、落ちつきません。

②生活はどろ水がどう変わりましたか
高い物は買えないので安い物でいろいろ買いそろえました。不安です。又、ドロ水がくるのではないかと。雨の音がすると。9月10日前は雨の音は好きでした。今は不安です。床板は、全部張り替えていませんので心配です。それもドロ水につかっていたのですから。

③うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか
私のことを2日間泊めてくれた人。8日間泊めてくれた洗濯物（私のドロだらけの洋服洗ってくれた）を3日間洗い続けてくれた人。家族中であたたかく、お世話をしてくれて感謝でいっぱいです。

・水が不足したこと。電気がこなかったこと。トイレがこわれてしまい使用できない。

・私の体が体重がへりやせてしまった。口の中に口内炎が4ヶ月以上直らずいまだにつらいこと。

・工事の遅れた所は、カビでいっぱい。大工さんが気の毒でなりません。カビがひどいままです。

④今回学んだことや教訓はどんなことですか
にげて良かった。3時30分までおけいこしてました。4時ににげました。水がきていませんでした。こないだろうと思っていました。

水のおしよせる。音とか流れとか見ないですすみす。だから、今、ここですこせしています。

今度同じ事がおきてしまったら、もう年です。今の今回のような、立ち直りはできないだろうと思っています。早くあきらめる事も必要かと思っています。元の生活にもどすということは、ものすごくエネルギーとお金が必要です。お金がなくなってしまう。

⑤今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか
私のとなりに息子が美容室を開店しました。町がこんな状態ですからお客様がなかなかきてくれません。どうしたらいいか悩みます。

・家が全体が、ゆがんでしまっていたら、地震がきたら、もういかも、とか。これから、もっと年をかさねます。お金をたいふ使ってしまう。働けるうちはがんばります。が来年は67才になります。私の、もっと年いってからの生活が心配です。

⑥まちやぐらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか
もつと国や県に応援をしてもらってほしい。お金です。

・いろんな支援があります。が手続き書類が複雑すぎます。ドロ水が入ってしまったことは、確かなのですから、もつとわかりやすく、早く、お金を下さい。何をしてもお金がなです。

・大型店にきてもらおう。常総市にお金が集まるように人々が動き出すように。コスさえもなくなってしまう。おいしいお店。うでのいい職人の店。すばらしい誰かが行ってみたくなるような公園。ドロ水の入ってしまった田んぼを買いあげて遊水地を作る。川と川にはさまれているのですから必要なことです。駅前も整備することです。水海道も死んでしまっています。

⑦行政に望むことはなんですか
・市のいきかえり。住民がとどまっていられるようにいろいろ考えてほしい。

・600人も1000人も出ていってしまうなんておそろしい状態です。

・テレビを見ています。といろ他の市や町では努力しています。大きな力をかりないと、現在以上にはなれません。4月には市長選があります。が行動力と、知恵と若さの（若い）ある方になっていただきたい。そのような方が現れたら応援おしません。

・野外的アナウンスはききとれません。もつと、全住民にいきわたる重要なことはどうすればいいか考えて下さい。

⑧市外の人たちへのメッセージをお願いします。

私は床上1m65.3ドロ水が入りました。皆さん水が入ったことがないから聞かれることは、何が助かったの？私は1m50.3の身長です。平屋です。何にも助かりません。水は、すき間があればどこまでも入ってくるのです。タンスの引き出しの中にも。そつと見守ってほしい。ドロ水が入ってしまった店でもいらがらずにきてほしい。常総市は、回りの市外の方達の協力なしでは生き返れません。

大生の声

① 9月10日から今までどうすごしてきましたか
数日、水に浸かった品々、家、何もかもダメ、涙さえ出なかった。9月10日より避難所生活。工事中の自宅と避難先を往復しているだけ。

② 生活はどこが変わりましたか
大半がゴミとなってしまった現在。大切なものはなくし、すべてが不自由です。

③ うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか
多くのボランティアの方、ご近所の方、友人、知人、身内の者、その他いろんな方のご協力でここまでできました。自由な生活をしているだけに、共同生活は氣を使います。

⑤ 今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか
大雨と聞くとすごく不安になる。リフォームといってもすべてに手がつけられるわけもなく、残した部分が心配です。

⑦ 行政に望むことはなんですか
9月10日PM7:14のエリアメールの中で「すでに一部の地域に避難指示が発令されております」とありましたが、もう少し詳しく地域を知らせてほしかった。ご近所の方の知らせがなかったら、水が出てもわからなかった。防災無線は今でも聞きにくい。



五箇の声

① 9月10日から今までどうすごしてきましたか
11月末まで石下総合体育館
12月1日より25日までスカイホテル

② 生活はどこがどう変わりましたか
勤務先の被災で現在は失職（再開未定）

③ うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか
皆さんからの支援・励まし
第一次避難所での生活（環境、プライバシー）

④ 今回学んだことや教訓はどんなことですか
30年前の小貝川決壊の時の記憶経験が逆に判断を遅らしてしまった。その時の判断は冷静に行うべき。

⑤ 今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか
農業の再建（機械・設備）の金銭的負担

⑥ まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか
みんなの前向きな姿勢、行政の支援

⑦ 行政に望むことはなんですか
財政的な支援も継続して頂けたらと思うが、まだ被害を受けた道路・建造物等の復旧

⑧ 市外の人たちへのメッセージをお願いします。
この様な被害はまれだと思います。川の近くにお住いの方はいつ自分たちが被害者になるかわからないので日頃から防災という意識は持っていたほうが良いと思う。川以外でも災害が発生する可能性は少なからずあると思います。被害地・被災者のことを忘れないでください。

五箇の声

① 9月10日から今までどうすごしてきましたか

県営住宅に入居するまでは大変でした。一人暮らしの年寄りなので、ヘリで救助していただいて一晩、次の日親類の家に15日、それから自家に50日、その間連絡も取れずとても不安でした。でも姪夫婦がよく面倒を見てくれましたので、早いうちに公務員住宅に入ることができました。誰にもやつてもらわれない人たちがたくさんいる事に心が痛みます。このような時こそ福祉、行政、もう少し気を配ってほしかったと思います。今でも週一回は来てくれますし病院の送迎もしてくれます。ありがたいです。

② 生活はどことがどう変わりましたか

今までと変わりませんが、夕方は淋しくてパニックになっていても、朝のラジオ体操の時間が来るのが待ち遠しいです。自分の体ですので、1日も長く続けたいと思っています。今年1月29日は満81歳になりますが残りの人生おだやかに暮らしていけたらとそう願うばかりです。

③ うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか

嬉しかったことは4か月たった12月30日ジュントスさんから初めて支援の品物をいただいたことです。ありがとうございました。つらかったことは年寄りの一人暮らし寂しく悲しい事です。今まで自分で作って食べていた家庭菜園全部水害にあってしまったことです。これからは全部買って食べないといけないと思うと、はたして年金だけでは無理だと思いますのでその事を思うとつらいです。

④ 今回学んだことや教訓はどんなことですか

まさか自分かと思つた事。テレビを見ていて教わつた事、タオルと懷中電氣を持って出た事、夕方5時半頃だったので暗くなつて来た時タオルと懷中電氣を振つて助けられた事です。

⑤ 今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか

何人かで暮らせる家がいいですね。体の動くうちは家庭菜園でもやつて、自給自足で新鮮なものを食べたいですね。

⑥ まちやぐらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか
皆さんと思ひやりをもってこれからを過ごせたらいいと思います。

⑦ 行政に望むことはなんですか

1日も早く年寄達を市内に迎えてください。お願いします。そうは言っても役所の方も大変ですね。でもなるべく早くお願いしたいです。こんなにさみしく、さみしく、時々パニックになる事もたびたびです。

⑧ 市外の人たちへのメッセージをお願いします。

市外の人達、皆さん、とてもやさしくしてくださつたことに感謝です。有難うございました。

五箇の声

① 9月10日から今までどうすごしてきましたか
9月10日あつという間に水が来て大切な物々と思い自分の物は衣類を含め殆ど2階にあげる事が出来ませんでした。2時間くらいまってヘリで救出されたのは暗くなつてからでした。石下総合体育館に役3ヶ月お世話になって12月8日修理完了していない自宅に戻りました。皆様方に助けられて今があります。ジュントスさんから電気毛布届けていただいて本当にうれしくありがたいです。感謝です。

② 生活はどこがどう変わりましたか
一昨日(12/12)炊飯ジャーを買ってきました。まずご飯炊きからだと思って。キッチンはまだまだ。今2階で寝起きしています。1階部分の修理は2月中にできればよい方だと思っています。

③ うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか
大事な写真が水に浸かりながら半分ぐらい残りました。よかったです。ネコ達も全部無事でした。犬が2匹のうち1匹おぼれて死んでしまいました。自分の小屋に戻って死んでいたことを思うととてもつらいです。屋敷に葬りました。チヨビ(大きい犬でした)を忘れない。

④ 今回学んだことや教訓はどんなことですか
助け合いのすばらしさを身をもってうれしく思いました。皆さん輝いていました。本当にありがとうございました。

⑤ 今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか
12月8日に自宅に戻りました。風呂、レンジ、冷蔵庫、2階にトイレがありましたので、何とかあと炊飯器を購入しました。炊き込みご飯を作ったり工夫して食事をしています。風邪もひかず頑張っています。皆様のお助けをいただいてありがたく思っています。1階部分は今のところ手付かずです。この冬は頑張るのみと思っています。少しづつでも前に進むことが今は大事なことのだなと思っています。待てば桜の花も咲きます。

⑥ まちやぐらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか
活気あるまち・ぐらし望むところですが、具体的に何かわかりません。

⑦ 行政に望むことはなんですか
いろいろと助けて頂いてうれしく思っています。

⑧ 市外の人たちへのメッセージをお願いします。
災害にあわれなかった人達から他人事と思ってほしくありません。

五箇の声

① 9月10日から今までどうすごしてきましたか
9月10日から12月8日迄、石下総合体育館でお世話になりました。皆々様のお蔭で無事過ごさせていだきました。本当に感謝いたして居ります。

② 生活はどこが変わりましたか
普通に生活していた身のまわりの物、家財道具、生活用品殆どが水につかり捨てざるを得ませんでした。とてもつらいです。でもあきらめる事にしました。そうしないと前に進めないと思ったからです。

③ うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか
皆様の好意がともうれしかったです。失った物が戻ってこないと思ったこと。10才の犬を水で失ったこと。家の近くに葬りました。今は1日に1回は声をかけています。

④ 今回学んだことや教訓はどんなことですか
ジュントスさんにこのように助けていただいて心の暖かい人達の好意を受けてありがたいと感謝です。若い人達に良くしていただいて私も若かったらと思いました。NPOについて知る事が出来ました。

⑤ 今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか
今後の事、悩まず前に進むこと。桜の花の咲く頃が待ち遠しいかぎりです。

⑥ まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか
1人1人が心を明るく持つて前に進んで行くことが活気のある町になる
原動力と思っています。

⑦ 行政に望むことはなんですか
此の度の災害を受けた市民に思いやりのある行政をお願いしたいです。

⑧ 市外の人たちへのメッセージをお願いします。
自然災害はいつ起こるか解りません。他人事と思わずお願いいたします。



五箇の声

① 9月10日から今までどうすごしてきましたか

避難所と自宅を雨の日以外、毎日毎日往復して家の中の片付けと家のまわりのガレキなどの片付けをしていました。私、何をしているんだろうとふと手を止め、悲しい毎日を送ってきました。東北の被災者の気持ちが少しわかったような気がする。夜は、「くを見ることもなく、日記をつけていました。」

② 生活はどこがどう変わりましたか

今までも質素な生活をしてきましたが、買い物等さらに本来に必要な物であるかどうか考えながら買い物をするようになった。「もったいない」という気持ちが非常に強く、すてである品物がまだ使えるかどうかよく見て、拾おうとする気持ちが働くのが自分でも嫌いだ。何しろ水害ですべてをすててしまったのだから。

③ うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか

つらかった私に水戸の知り合いが「おいしい物でも食べて」と見舞金を送ってきてくれたこと。この水害が無かったら、会うはずの無い人達、大勢の人達に会えたこと。沢山のボランティアさんに親切にしてもらったこと。辛かった事は、毎日の片付けでほこりを吸ったせいかわからないが、声が変わってしまった事。買物に行ったときに私は被災者、まわりは普通の生活をしている人と区別してしまい、私たちはいっばい不幸者であると思ひ込んでしまう自分が嫌いになってしまった。父親の形見の自動車、父親と映った写真を水没、すてざるを得なかったこと。

④ 今回学んだことや教訓はどんなことですか

川が越水したり決壊したら命がなくなると思えという事。防災無線の内容をよく聞いて確認する。ラジオを聴く。缶詰や水を用意しておく。被災したら親類宅ではなく避難所にお世話になる。

⑤ 今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか

これから先普通の暮らしができるかどうか。お金がこれから先、続くかどうか。マイナスからの出発だ。

⑥ まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか

人と人とのたすけあい
みんなの団結力

⑦ 行政に望むことはなんですか

あきれて何も期待することはない。ただひとつ、市の名前を変えてほしい。
自分の事しか考えていない。国民・市民の事など考えていない。

⑧ 市外の人たちへのメッセージをお願いします。

募金や救援物資等いろんな面で助けて下さった皆さんに心の底から「ありがとう」といいたいです。手編みのマフラーや靴下、自分の氣に入った洋服をクリーニングに出して差し出してくれた方々、大企業からの毛布、パジャマ、下着類、タオル、歯ブラシ、本当にありがとう。またお弁当、おにぎり、パン、沢山ありがとうございました。今日まで生きてこられました。

三妻の声

① 9月10日から今までどうすごしてきましたか
運動公園の体育館に避難をし、その後身内の家に行きました。身内の家には2か月お世話になりながら、自宅をボランティアさんたちと撤去をし、県営アパートを用意してもらい住んでいます。

② 生活はどこがどう変わりましたか

一番は自宅での生活ではないこと周りの環境が変わってしまったこと避難先の環境に慣れるまで大変です。

③ うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか

自宅の片付けでボランティアさん達の手伝いが無ければできなかったことボランティアさん達の支援物資をいろいろ用意してもらえたことがうれしいです。つらいのは、一日も早く自宅へ帰りたと思うばかりです。

④ 今回学んだことや教訓はどんなことですか

周りの人やボランティアさん達といっしょに協力しあい、助け合いで、ここまでこれたと思います。

⑤ 今後のことと考えていること、悩んでいることはなんですか

自宅に戻ることができるが、いままでもどおりの生活に戻るかです。

⑥ まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか

被害にあった人が、できるだけ、いままでも通りの生活、自宅に帰れるような復興を考えなければならぬ

⑦ 行政に望むことはなんですか

やはり市や県にできるだけ支援をしてもらいたい

⑧ 市外の人たちへのメッセージをお願いします。

東日本大震災から被害にあったにもかかわらず、ボランティアさん達の中にもその人達がいて、私たちに手を差し伸べてもらい支援してもらい大変感謝しています。

三妻の声

① 9月10日から今までどうすごしてきましたか
9月10日午後4時決壊場所のすぐ近くで危険なため自宅2階よりヘリコプターで私と息子二人で石下総合体育館に運ばれました。それから11月30日までの間避難生活を送りました。

② 生活はどのように変わりましたか
石下体育館も12月8日の閉鎖を知り私と息子二人は11月30日になんとか自宅に住めるようになったので戻りました。家に戻っても何もなくて家の修理やら体調も気にしながら毎日気持ちを新たに過ごしています。

③ うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか
体育館では被災者どうしのあいさつ、助け合いなど今までの人生で最も心に残るいい体験をしました。又辛かったことを言えば、一人一人の気持ちを知りその人に合わせないと生活ができないことです。

④ 今回学んだことや教訓はどんなことですか
私は避難生活は人生初めてであり想像以上の苦勞を知りました。人間は自分一人では生きられません。又、人の話をよく聞き、知らないことを覚え、知っていることは人に教えることです。

⑤ 今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか
以前の生活に戻るのか、収入はどうなるのか、今後の生活が心配です。

⑥ まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか
私達被災者の補償はまだまだ足りません。市町村の再生は第一にお金です。県や国がもっと助成をしなければ復興はありません。

⑦ 行政に望むことはなんですか
被災者が安心して生活できる補償又、県や国は危険な場所など放置しないで早急な対策をとってください。

⑧ 市外の人たちへのメッセージをお願いします。
この度の水害に対しましては大勢の皆様から沢山のお見舞い、お手伝いを頂きありがとうございました。このことは生涯忘れません。これから私達常総市民は前に向かって進んでいきます。がんばります。

三妻の声

① 9月10日から今までどうすごしてきましたか
毎日近くのアパートから家に通っています。(アパートに洗濯機が入らないので選択とかたづけ)

② 生活はどこがどう変わりましたか

7人家族なので子供や孫たちと別々に住むことになりました。

③ うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか

近所の人たちにいろいろお世話になりました。冬に向けて毛布などいろいろいただきました。

⑤ 今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか
経済的な事もあります。

⑦ 行政に望むことはなんですか

書類提出などとしよりには大変な事でした。

⑧ 市外の人たちへのメッセージをお願いします。

大切なものはいっしょに住んでいる者の物はある程度どこにあるかを教わっていたほうがいいと思います。

三妻の声

① 9月10日から今までどうすごしてきましたか
自宅2階ですごし、食生活は出来ず、外食、お弁当等ですごしました。

② 生活はどこがどう変わりましたか
一変の一語に尽きます。

③ うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか
ボランティアさんの温かい接し方非常に嬉しかった。

④ 今回学んだことや教訓はどんなことですか
このような天災にあい、今まで関心がなかった事、他人が困っていたら助け合いの精神を学びました。

⑤ 今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか

⑥ まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか
お互いの思いやり、また人頼みにせず自分自身で道を切り開く事の大切さ

⑦ 行政に望むことはなんですか
いろいろな情報は被災地全体に届くように

⑧ 市外の人たちへのメッセージをお願いします。
お互いに助け合いましょう

石下の声

① 9月10日から今までどうすごしてきましたか
みなさんのおかげで大へんよい生活をおくらせています。ありがとうございます。みなさんも体をたいせつにして下さい。

② 生活はどうかどう変わりましたか
自分の家より、よい生活をおくっています。まことにありがとうございます。

③ うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか
ひさいしたけれどもみなさんのおかげでよい生活を送らせていただきありがとうございます。

④ 今回学んだことや教訓はどんなことですか
みなさんによくしていただいたいへんありがたく思っています。今回ヒサイしましたけれど自分ももしみなさんになにかあったら自分にできる事があれば協力をしたいと思います。(び力でわありますけれど)。

⑤ 今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか
家に早く帰りたいです。

⑥ まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか
みなさんの協力かと思っています。

⑦ 行政に望むことはなんですか
色々ありますが行政の方々も大変でしょうががんばってください。

⑧ 市外の人たちへのメッセージをお願いします。
市外の人々の皆さん。今回はたいへんお世話になりました。皆さんも体をたいせつに。最後になりますが大変ありがとうございました。

石下の声

① 9月10日から今までどうすごしてきましたか
お皿は紙、メモ用紙、ちり紙、サランラップ お椀とコップは紙コップ、割りばしかアイスクリームサービススプーンで頂きます。焼き魚、煮魚、てんぷら等台所で料理をするものは食べなくなりました

② 生活はどこがどう変わりましたか
車が市役所で水没してしまい移動手段もなくなり自宅も床上180cmになり帰る家もなくなりました。いままでやれていたボランティア（シルバーバリアビリティ体操）等がやれなくなり、シルバークラブの活動もできなくなりました。

③ うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか
かま仙にてお世話になっていること。いえが浸水したことです。

④ 今回学んだことや教訓はどんなことですか
色々の方にお世話になった事ですかね。

⑤ 今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか
1日もはやく自宅にもどりたいたいです。あと仕事を早くさがして、自立したいと思っています。

⑥ まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか
行政が市民1人ひとりにおねがいして、協力をしてもらおうことだと思います。なかなかムリだと思いますが、おれ個人のいけんです。

⑦ 行政に望むことはなんですか
市民一人ひとりが大事だと思います。よろしくおねがいます。

⑧ 市外の人たちへのメッセージをお願いします。
お互いに助け合いましょう

被災者の声 匿名

① 9月10日から今までどうすごしてきましたか
9月10日からつくば市の姉の家に避難しました。9月27日からはアパートを借り、夜は泥棒がでるといってとで自宅2階に父が寝泊りをしました。

② 生活はどことがどう変わりましたか

1階部分がほとんど泥水に浸かってしまい何もなくなってしまったので、すべてを揃えるのは難しい。

③ うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか

写真がダメになってしまった事。趣味のものは後回し。なくなっても手に入らない事。とにかくすべてがなくなってしまった事。皆が手伝いに来てくれて、自分たちだけではどうにもならなかったが片づけられた事。

④ 今回学んだことや教訓はどんなことですか

いつ何が起きるか分からない。早めの準備、保険が大事。

⑤ 今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか

今回リフォームしたが、高台に家を買う人もいる。このまま住んでいて大丈夫だろうか。

⑥ まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか

町中の細い道は、本当に大変だと思います。道の整備と区画整理は必要だと思います。

⑦ 行政に望むことはなんですか

川に挟まれた町なので、護岸工事を望みます。せめて役所や消防署などは高台に移す方が良いと思います。

⑧ 市外の人たちへのメッセージをお願いします。

水害は周りから見たら元に戻って様ですが、家の中は壁や床が剥がしてある状態がほとんどです。頂いたものにも限りがあります。これからどうかご支援をお願いします。

被災者の声 匿名

① 9月10日から今までどうすごしてきましたか
家の1階が1m以上の水に浸かり住むことが困難になり、すぐに修理を受けてくれる工務店や大工さんが見つからず、水海道一高、あすなろの里、ホテル野村屋と避難所を転々としています。

② 生活はどこがどう変わりましたか
食事、お風呂などの時間制限や、ナンバー付きのカードによる出入りのチェックなど、今まで当たり前に行っていたことへの制約や、狭い部屋での他人との共同生活などです。

③ うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか
うれしかったことは、ボランティアの皆さんが被災者への気づかいや思いやりを持って接してくれたことと、壁や床の剥がし、断熱材の取出し、床下の泥かきをしてもらったことです。つらかったことは、自分の家の壁や床を自分の手で壊さなくてはならなかったことです。

④ 今回学んだことや教訓はどんなことですか
世の中には様々な事情がある人、いろんな性格の人がいるということ。特に感じたのは避難所の中で親身になってくれる人もいましたが、逆に、まるで自分が収容所の看守にでもなったかのような横柄な態度をとる人もいました。そんな少数の人のために常総市全体が人への思いやりのない、やさしさのない市だと思われるし、他の職員もそんな態度をとる人なのではないかと不安に思ってしまう。

⑤ 今後のことと考えていること、悩んでいることはなんですか
家を直すための資金繰りや家財道具などをどれだけ買い揃えることができるか不安なことばかりです。

⑥ まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか
行政が被災者一人一人の声を聞くこと、被災者の想いや意見を聞かないで町だけきれいでも人々のくらしが本当に復興できたとはいえないと思います。

⑦ 行政に望むことはなんですか
個人ではなかなかできない被災ゴミの処分をしてほしい。まだまだ被災ゴミが出ているのに、ゴミ捨て場で収集されないゴミが出る一方です。分別できていない被災ゴミの処分もお願いします。

⑧ 市外の人たちへのメッセージをお願いします。
会ったことの無い私たちに、多大な義援金、援助物資などありがとうございます。なによりも多くのボランティアの人達のおかげで、私たちは前へすすむことができました。本当にありがとうございます。

匿名 被災者の声

① 9月10日から今までどうすごしてきましたか
私の実家に避難し、今は自分の家に戻り二階で毎日生活している。新しく家を建てられることが嬉しい。

② 生活はどこがどう変わりましたか
人間的に皆様や自分も暗い毎日の暮らし送る。顔で笑って心で泣く人が多いことがよくわかりました。

③ うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか
家を解体して新しい家を建てること。先が真っ暗で生きる希望なしの時、私達も76歳になって苦しい。政府も何なし。もう少し国のためになる政府でもらいたい。自由民主党はだめだ。

④ 今回学んだことや教訓はどんなことですか
人間らしい心。思い遣りです。一番大事なことは。

⑤ 今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか
お金です。私も高齢者で脳梗塞、心臓バイパス手術を受け生きていくが？

⑥ まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか
お金以外は何も無い。

⑦ 行政に望むことはなんですか
安倍首相外国などでばかりお金を撒き散らすことを。もう少し考えて自分の日本の国を大事にすること。考えてほしい。

⑧ 市外の人たちへのメッセージをお願いします。
顔で笑って心で泣く常総市の皆さんの気持ちです。腹の底から皆特に聞く言葉です。

被災者の声 匿名

① 9月10日から今までどうすごしてきましたか

・9/10は家にいた。

・被害は床上1m

・翌日ボートに乗って避難→避難所半日→親せき→今は自宅に(リフォーム中)

② 生活はどこがどう変わりましたか

・玄関を使えるようになった

・予備のキッチンがあつたので自炊はできる

③ うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか

友人が片付け手伝ってくれたこと

(つらかったこと)常総市の名が広がった(！?)

④ 今回学んだことや教訓はどんなことですか

「すぐに逃げろ」ということ

警報をきくこと

⑤ 今後のことと考えていること、悩んでいることはなんですか

金銭的↓リフォーム

⑥ まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか

・金銭的支援↓年齢によらず現金で↓個人にいきわたるように

家を直す資金

・一人一人の意識が必要

⑦ 行政に望むことはなんですか

対応が遅い(後手後手)→産業はいき物のお金等矛盾

⑧ 市外の人たちへのメッセージをお願いします。

義援金、ボランティアありがとつこございます



被災者の声 匿名

① 9月10日から今までどうすごしてきましたか
最初市役所まで膝ぐらいまで水につかって歩いて避難しました。2日そこいて、あすなろの里に移りました。和室で松崎さんご家族と7人で、自分たち2人と一緒に行きました。食事、風呂が使えたので生活には困らなかった。朝7時のバスで水海道駅まで行き、電車で中妻まで仕事に行っていました。帰りは市内に住む父が送ってくれていました。10月中につくばに住めることが分かったが支援金などの支給を待つため、常総に留まり12へ1に移ってきました。ボランティアを頼んで移りました。手続きなどまだ残っているので常総に戻る予定もある。

② 生活はここがどう変わりましたか
仕事に行く、家に居るという点では変化がない。週に2回リハビリのきぬ医師会に通院していたがそれはできないでいる。

③ うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか
ボランティアの人が毎回来てくれてうれしかった。マッサージの人など。みんな一緒にいたからプライベートなことができなかった。

④ 今回学んだことや教訓はどんなことですか
行政はどうしようもない。義援金にしろ見舞金にしろ、行政は12／8にやっと口座に振り込みがあった。その間何やってたんだと言いたくなる。

⑤ 今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか
健康のこと

⑥ まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか
考える暇がない。それより自分のことで精一杯。

⑦ 行政に望むことはなんですか
行政は遅い。

⑧ 市外の人たちへのメッセージをお願いします。
ない

被災者の声 匿名

① 9月10日から今までどうすごしてきましたか
10日避難勧告聞く

11日8時床上浸水常総線高架橋に避難(常備薬)忘れる。午後2時半、ヘリコプターで前川製作所グラウンドに同4時半頃守谷体育館へ午後9時血圧が上がリ(200)救急車で病院に運ばれる 10時30頃避難所に座る
9/19避難所移動する(守谷学びの里)
10/10また移動(あすなろの里)11月に入りアパート掃除片付けに週2日位往復する。11/20頃4度目の移動の話あり 30日アパートに帰る

② 生活はどことがどう変わりましたか
前の生活とはさほど変わらず襖類まだ入らず隙間風の中過ごしている。

③ うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか
一人身の中避難所で知り合い家庭的家族的な出会いがうれしかった。
つらかったこと
人間関係、いろいろな問題もありましたが

④ 今回学んだことや教訓はどんなことですか
市役所、アパートの大家の対応が遅い事

⑤ 今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか
又このような災害があったら年も年だし一人で生きのがれるかなと

⑥ まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか
思いつきません

⑧ 市外の人たちへのメッセージをお願いします。
自然災害 いざその時に会ってみたいと恐ろしさ・怖さは解らないと思います



被災者の声 匿名

① 9月10日から今までどうすごしてきましたか
11日から避難所ですごしてきました。つくばの住宅を紹介されましたが、通勤に時間がかかる事もあり、毎日朝夕1時間ずつ何かむだな生活をおくっている気がします。

② 生活はどこがどう変わりましたか
かわいがっていた犬が死んでしまい、何でと思うことが多くあります。何で私だったんだろうとか、何が悪かったのだろうと思う事だらけです。

③ うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか
うれしかった事は自えいたいに助けて頂いた事 皆さんにありがたい言葉を頂いたこと
つらかった事

犬が死んでしまった事
大切にしていた物が無くなってしまった事

④ 今回学んだことや教訓はどんなことですか
大切な物は常にそばにおいて置く事

⑤ 今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか
また住所が変わる事でのわずらわしさ。手続きのめんどろさなど

⑥ まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか
人の気持ちをもちと考えるもりたい
色々な事を話す事すらいやな時がある。もっと理解してほしい

⑦ 行政に望むことはなんですか
行政どうりにいかない事がたくさんあるという事
時間も休みが無く話しに行く時間すらない事
休みのときにも相談に行けるようにして欲しい

⑧ 市外の人たちへのメッセージをお願いします。
のどもとを通ればどうり、もうすべてが上手いっていると思っっている方が多く居ると思いますがまだまだすべてが終わっていないし行政が上手いっていないと思います。



被災者の声 匿名

① 9月10日から今までどうすごしてきましたか
あすなろへ13日に避難（手をケガしたので）家族と小絹へ行くが骨折してしまい家族にすまない気持ち。病院へはボランティアに送迎してもらった。自宅は1月中旬から大工が入る。」

② 生活はどこがどう変わりましたか
畑仕事をずっとやってきたが今はできない。↓やることがなくなってしまった眠れなくなり安定剤を飲むようになった。」

③ うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか
一緒に共同生活は大変だった。送迎ボランティアにはお世話になった。

⑤ 今後のことと考えていること、悩んでいることはなんですか
お金の心配（自宅の修理費）

⑥ まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか
お茶のみ出来る様な場会話が欲しい以前は健康体操していたが今はない、

⑦ 行政に望むことはなんですか
補助金だけでは修繕できない。避難2月までだが家は修繕完了しない。



被災者の声 匿名

① 9月10日から今までどうすごしてきましたか
避難所生活を2か月してきました。今は県営住宅に入って生活しています。

② 生活はどこがどう変わりましたか
廻りの環境がわからなく生活がなれません

③ うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか
三食の食事が出来、着るものももらえてほんとうに助かりました。性質が違う人たちなので生活はつらかったです。

④ 今回学んだことや教訓はどんなことですか
共同生活なので、たえることが一番大事だと思いました。

⑤ 今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか
県営住宅も2年しかいられないので市営住宅に入りたいのですが入れるかどうか心配です。

⑥ まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか
今は何とも言いません

⑦ 行政に望むことはなんですか
生活がなりたつようにしてもらいたい。

⑧ 市外の人たちへのメッセージをお願いします。
みんな頑張って生活できるようお願いします



被災者の声 匿名

① 9月10日から今までどうすごしてきましたか
3ヶ所の避難所で暮らす（市役所・あすなろの里・スカイホテル）

② 生活はどこがどう変わりましたか
夫婦で体調を崩す

③ うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか
ふるさとの同級生（小中学校、顔も思い出せない）沢山の生活物資が届く退職して10年余り元会社の同僚よりトン汁30食が振る舞われた。大勢の方々からお見舞金をいただき、優しさに甘えを受け入れるばかりでしたが、お礼はどうしたら良いのか悩んでいます。、

④ 今回学んだことや教訓はどんなことですか
感謝している間が幸せでした。

⑤ 今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか
年金暮らしで蓄えはなく不安です

⑥ まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか
豪雨で水の怖さを知り、断水で水の有り難さを味わう感謝できる幸せ！、

⑦ 行政に望むことはなんですか
平等に！

⑧ 市外の人たちへのメッセージをお願いします。
温かい励ましの言葉をいただきありがとうございます。



被災者の声 匿名

① 9月10日から今までどうすごしてきましたか
家にいました

② 生活はどこがどう変わりましたか
洋服など買わなくてはならないのです

③ うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか
食べ物・衣類もらったこと

④ 今回学んだことや教訓はどんなことですか
人のやさしさ

⑤ 今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか
これから又水がくるのかなと考える。

⑥ まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか
早く皆がくらせるように

⑦ 行政に望むことはなんですか
復こう早くしてもらいたい。家の無い人達に

⑧ 市外の人たちへのメッセージをお願いします。
がんばりましょう



匿名 被災者の声

① 9月10日から今までどうすごしてきましたか
9、11に救助へりに救助され9、13迄水が引かず自宅に帰れなかった。その後、しばらくは知人宅より毎日片付け作業に追われた。現在は仮住まい中です。

② 生活はどこがどう変わりましたか
毎日落ち着かない先が見えなく眠れない日々を過ごしています。、

③ うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか
長年住み慣れた家を失う事になった事が大変ツラかった。ボランティアの方々、ほか沢山の方に助けられたことが大変うれしく助かりました。

④ 今回学んだことや教訓はどんなことですか

避難指示をあてにせず、自主的に避難すること

⑤ 今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか

自宅の再建、家族の健康

⑥ まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか
長期的な支援

⑦ 行政に望むことはなんですか

今回の八間堀川決壊の原因を公開してほしい・手続き関係(支援)がたびたび変更になるが、既に済んでる人には対象外とかでは不公平と思う。、

⑧ 市外の人たちへのメッセージをお願いします。

この度の水害で大勢の方々から支援を受けました。大変有難く感謝しております。ありがとうございました。

被災者の声 匿名

① 9月10日から今までどうすごしてきましたか

お皿は紙、メモ用紙、ちり紙、サランラップ お椀とコップは紙コップ、割りばしかアイスクリームサーブिसプーンで頂きます。焼き魚、煮魚、てんぷら等台所で料理をするものは食べなくなりました

③ うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか

粗大ごみをトラックで運搬してくれた・ご近所付き合いの大切さ実感・ご近所さんが声をかけてくれお互いで手伝ったり、協力し、励ましあえたこと・避難所生活、トイレやお風呂に入れなかった事、

④ 今回学んだことや教訓はどんなことですか

情報収集 一つの出来事で安心しない事前の予防(予報の時点で逃げる準備をする)

⑤ 今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか

今後の生活、お金の工面・売買しても常総市の土地の魅力がないので、

⑥ まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか

人が常総市に流入してもらえるような方法・先進的な取り組み、

⑦ 行政に望むことはなんですか

なんといっても生活支援給付金等の早期の入金・常総市という名前での風評被害を受けた。名前の変更まで含めた抜本的な魅力の発信方法、

⑧ 市外の人たちへのメッセージをお願いします。

ふらっと常総市に立ち寄ってほしい



被災者の声 匿名

① 9月10日から今までどうすごしてきましたか

橋本町の家から妹さん(森下)のところにいった。4時ころ水がきた。うおまつい買い物に行きカレー2つしかなかったので買った。水があふれてきた。布団あげていたのを下した。座敷の頭の上まで水がきた。でんき、でんわも夜に切れた。ヘリコプターは向こうにいった。2日間手をふりとおし、妹・姉・犬3日目もう死ぬ、と。ボーにはしご。坂手の公民館。犬はダメといわれた。ふたりで外でどろのところで寝た。きぬの家でおふろにやっとなつてあすなろにいった。足が妹は悪いのに2分にして足をひきずっていた。犬は土浦の犬やさんに。泣いている方が多かった。部屋を途中でかわった。あすなろで親切な人もいた。

② 生活はどことがどう変わりましたか

今までは畑やってた。やさしいっぱい作ってた。あすなろでは共同生活、4人で。11時12時までしゃべってねむれなかった。友だちがいっぱいいって三日に一度カラオケしていた昨日もやっと思った。

③ うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか

ボランティアの方がうちの片付けなどしてくれてありがたかった。ピノキオクラフトクラブ松村さんが家の修理のことを助けてくれた。

⑤ 今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか

帰ってからのこと。家がまわりにポツ・ポツとなった。こわしてしまつて。これがこわい。ひとりぼっちになる。買物が遠い。今までは自転車で行っていたが。

⑥ まちやぐらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか

器具・せんたくき・冷蔵庫・電話

⑦ 行政に望むことはなんですか

お金の支給のことなどのしくみ。手続きのことがわかりにくいので困る。

⑧ 市外の人たちへのメッセージをお願いします。

市内西側の人の支援がない。

匿名 被災者の声

① 9月10日から今までどうすごしてきましたか
絹ふれあいセンターに行少しほかに行き、9月22日にあすなろの里にお世話になりました。マツサージや色々と考えてくれて足のむくみもだいぶん良くなりました。ボランティアさんがいまして、ありがとうと伝えたいです。

② 生活はどことがどう変わりましたか
何もなくなつて家に入られなくて不便なことだらけでした。誰もが同じだからと思いました。皆さん良くして下さつてお礼も言えないまま会わなくなったことが残念です。

③ うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか
・プライバシーが守れなかった事・皆さんとお話ができてイベントに参加できたことオードリー・ヘップバーンの映画も見れて楽しかったです。

④ 今回学んだことや教訓はどんなことですか
皆さんと手をつないで頑張つて行く事です。一つの輪になって、力を合わせて生きていく一人では生きていけないと思います。

⑤ 今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか
リフォームが大変です。おばちゃんとうまくやっていくのができないかなと悩んでいます。

⑥ まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか
皆さんで協力しあうことです。

⑦ 行政に望むことはなんですか
むずかしいですね。

⑧ 市外の人たちへのメッセージをお願いします。
市外の人達にはいろいろとつくしていただき、感謝しています。助け合いができたらいいなと思います。

匿名 被災者の声

①9月10日から今までどうすごしてきましたか
私は水没後、一晚主人と自宅2階に居ましたが、翌日は太陽の照り付けが厳しく身体が熱っぽくなりましたので、ボートで豊岡小に運ばれました。蚊と天井の電気の眩しさとイビキの中でも一日だけしか持たないと思い東京の娘、甥、取手の友人、泊りの公衆浴場等を転々として、水が引いてから自宅に戻り、水道、電気がない自宅で片付けしながら2、3日は無我夢中で覚えていません。それからボランティアさんをお願いして一回の荷物を全部すてました。毎日毎日吹出してくるカビとの戦いでしたが、10日目程で風呂にも入り、カートリッジのガス台で料理をして少しづつ生活を取り戻してきました。とにかく身体が疲れて疲れてマッサージにもかかわらないと倒れてしまふかと思って過ごしました。

②生活はどこがどう変わりましたか
片付けで腰膝が痛くて心はうつ病のようになりました。毎日野菜と果物が不足している感じでとても食べたかったです。僅かに残った衣類ですが、今年は暖冬で助かりました。

③うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか
やはりボランティアさんに手伝いして頂いたことは一番慰めとなりました。夢中でしたので最近の方が幸せを感じます。喪失感と虚無感から無気力になります。

④今回学んだことや教訓はどんなことですか
人に助けられる有難さと難しさ。人様のご厚情が身に染みました。今後、反対の立場になったときは進んで、率先して、力を貸してあげたいです。人と人とのつながり、連携不足で大事に至ったと思います。もつと皆で危機管理意識を持ち日頃から結束できるような関係が大切だと思います。

⑤今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか
せまりくる老後、家の修理等です。近隣の方々がこの土地にこれからも一緒に住んで共に生活していけるのでしょうか。

⑥まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか
皆が又この土地で暮らそうと思えるように人々のつながりというか、心を通わせる方法があればきっと前向きになれるそうです。

⑦行政に望むことはなんですか
地球温暖化、異常気象と言いますが、人間同士のつながりが欠如していると思いますので日頃からもっとソフト面で動いてほしいです。

⑧市外の人たちへのメッセージをお願いします。
どんな災害も人事ではないということと隣の事はやがては自分たちの問題として間接的にも影響が出てきます。

匿名 被災者の声

①9月10日から今までどうすごしてきましたか
最初避難して唯考える心の余裕もなくぼうぜんと時をすごすといった状態でした。時を過ごすうちにだんだんと今後どうしよう、これからどうしたらいいか考え、毎日を悩みで苦しみでいつばいでした。

②生活はどうが変わりましたか
変わったなんて簡単な問題ではありません。長年住み慣れた家がなくなり唯ぼうぜんと過ごす毎日でした。

③うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか
唯ひとつ避難所での生活、心のケア、食事の楽しみ、それが私の唯ひとつの楽しみでした。苦しみを忘れられる一時の心の慰めでした。つらかった事といえば人間関係、避難生活最後の頃ちよつといやな事がありましたがつくばへ避難して以来忘れえました。

④今回学んだことや教訓はどんなことですか
今回学んだこと、どんな苦しみも私の兄弟(第一人)の力が大でした。第二人とどんな事も乗りこえ助け合って家を建て替えることにしました。流された家も40年前私勤めていた(専売公社)の時、建てたものでした。どんな時でも心から助けあえるのは、私とは第一人だけです。

⑤今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか
こんな事になって本当に心で思う事は、近所の心のケア。今人の情が薄くなっております。こんな時こそ心のケアが大事だと思えます。こんなことを考える心のケアがうすくなって居ります。そんな事を考えるのは私一人でせうか。

⑥まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか
私も年をとってお世話になつて身分でえらい事は言えませんが、若い人達でまちやくらしの再生、復興に力を注いで下さい。今まちの状態さびしいです。

⑦行政に望むことはなんですか
私ごときにえらい事は何も言えませんが、

⑧市外の人たちへのメッセージをお願いします。
とにかくがんばってください。お願いします。

被災者の声 匿名

① 9月10日から今までどうすごしてきましたか

9月12日夜より娘の所に宿泊し、13日より1週間借家（1軒家）の後片付けにかかり、その後3ヶ月程筑波市に家賃、電気、水道類無償の大東さんの力を借りて今は守谷市にアパートを借用し住んでいます。市の方でアパートに住んでいて避難所ではなく住む所を早く手を打ってくれればと思います。

② 生活はどのように変わりましたか

何一つない生活から子供、友人からの援助でようやく生活出来るようになり、あまり物を買わず夫婦仲良く墓に行こうと思っています。

③ うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか

嬉しかった娘と息子が私達夫婦の事を一生懸命やって来れたことです。何もなくなった私達の為に。辛かった事は74才になり何もなくなった事です。私物を1つ1つ車に積み込む時何で捨てなければいけないのか頭が真っ白になり涙が出てきました。

④ 今回学んだことや教訓はどんなことですか

・避難所に行つて、避難生活をしていても何の情報が入ってこない事。
・役所の人間が上から目線で事務的にやり避難者の気持ちにならない。

⑤ 今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか
今だかつて考えられません。

⑦ 行政に望むことはなんですか

・水害の件につき行政が何でも知っていると思うが、避難者にはもっと何でも分かるようにしてもらいたい。
・災害の補修金、何で3ヶ月、4ヶ月もかかるのか知りたいと思う。

⑧ 市外の人たちへのメッセージをお願いします。

市外の人達はただ災害が起きている、か、くで見てすごいと思って見ているだろう。私も水害に遭う前まで同じ様に見ておりました。

被災者の声 匿名

① 9月10日から今までどうすごしてきましたか
自宅1階に130センチ程水が入った為リフォーム工事をしていました。その間自宅2階での生活。朝食はレトルトかトースターで焼けるものを食べていました。トイレは2階にもあったので使用。夜ご飯、お風呂、洗濯は市内の実家でお世話になりました。

② 生活はどこがどう変わりましたか
時間に追われていたと思います。

③ うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか
1番嬉しかった事は、工事が終わり、自宅の風呂に入れた事。辛かったことは大切にしていた物が泥でぐちゃぐちゃになってしまったこと。

④ 今回学んだことや教訓はどんなことですか
物を必要以上に持たない事。

⑤ 今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか
今後も異常気象による自然災害が増えてくるのではないかと心配。

⑥ まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか
助け合い、情報の共有。

⑧ 市外の人たちへのメッセージをお願いします。
自然災害はどこにでも起こりうることで、周辺の地形や土地の把握、お年寄りの経験談に耳を傾けたりすることも大切だと思います。電気毛布どうも有難う御座いました。

被災者の声 匿名

① 9月10日から今までどうすごしてきましたか
避難所に3日、実家に戻り、12/5まで世話になっていた。12/6からはつくばに住み、今に至る。

② 生活はどこがどう変わりましたか

当たり前の平和な日常から、心身共に寒い気持ちになる日々です。車が無い為、遠くに行けなくなった。

③ うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか

うれしかったこと・生きて、愛する人、友人、親族に会えたこと。
つらかったこと・一人ぼっちで避難所にいたこと。

④ 今回学んだことや教訓はどんなことですか

災害はいつ起きるかわからない。人は温かい。だが、精神的に弱い。連絡手段が無いと、状況を伝えられない。

⑤ 今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか

考えていることは、仕事に早く就きたい。悩んでいることは、眠れているが体調が以前より悪い。

⑥ まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか

助け合い、ボランティアよりも生活支援や精神的な支援を行ってほしい。

⑦ 行政に望むことはなんですか

今住んでいる国家公務員住宅はH29.9月末で出て行かなければいけない。出来ればここに住んでいたい。次に住む場所を提供して欲しい。(無理ならば)

⑧ 市外の人たちへのメッセージをお願いします。

県外から励ましの言葉やご支援、義援金、援助金、生活支援金など頂き、何とか生活しています。ありがとうございます。支援物資も役立っています。助けてくれて有難うございます！

被災者の声 匿名

① 9月10日から今までどうすごしてきましたか
“市役所にひなんしてた あすなろにいました”

② 生活はどこがどう変わりましたか
なにもない所からの生活はたいへんです

③ うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか
ボランティアの人たがよくやって下さったこと。水につかったことわ、いしゅうわすれられない

④ 今回学んだことや教訓はどんなことですか
人のやさしさほんとうに心から、ボランティアの人にわお祝いがいいいた
きたないじでごめんなさい”

⑤ 今後のことと考えていること、悩んでいることはなんですか
なにこともなく平和

⑥ まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか

⑦ 行政に望むことはなんですか
こんなさいがえわにととおこしてはならない

⑧ 市外の人たちへのメッセージをお願いします。
おたがいにがばりましょう



被災者の声 匿名

① 9月10日から今までどうすごしてきましたか
豊岡公民館で皆さんにお世話になりました。いろいろ食べものをいただいて大変うれしかったです。これから
も、がんばります。どうも有難うございます。



被災者の声 匿名

① 9月10日から今までどうすごしてきましたか

9月10日は家にいました。9月11日ひなんじよ生活。9月14日頃から家とおうふく30日家にもどりました。

② 生活はどこがどう変わりましたか

テレビは無いので早く起きて早く起きます。いろいろと買いました。少しずつ買っています。(生活品)

③ うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか

うれしかったこと知人に手つたいをしてもらい特に妹夫婦にはありがとうございますですつらかったこと坂東市の人と電話で話した時に、こちらの様子が解らなかつたんじゃないかなと思う事もありました。

④ 今回学んだことや教訓はどんなことですか

あたり前がありがとう。健康のありがたみ。心の整理中です。

⑤ 今後のことと考えていること、悩んでいることはなんですか
生活を安定していきたい。

⑥ まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか

人々の協力が必要だと思うが、今はそれより自分の事と想っているので無いかな。

⑦ 行政に望むことはなんですか

人1人の市民が満足する事だと思うがこれができるか。行政はやる事が後手になりがち

⑧ 市外の人たちへのメッセージをお願いします。

東北災害の時は、あー家が流されている、多くの人が亡くなりました。自分の家も瓦屋根が落ちましたが、命がありました。命はだいじです。生きていれば、なんとかなるさの気持で、人生道を歩んでいます。人と言う字は自分と他人と書きます。ボランティア御苦勞様です。

被災者の声 匿名

① 9月10日から今までどうすごしてきましたか
少しずつ直しながらどうにか自宅で過ごしています。今まで自分の土地は安心だと甘い所がありありみせつけられるした。避難することだけで物を上げるという意識がたりなかったように思います。だからこそ失ったものが多かったように思います。

② 生活はどことがどう変わりましたか
今まであったものがないということで購入という気持ちになれなくて生活がしずらいです。

③ うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか
みずしらずの多くの人達の差し入れに声かけ、ジュントスさんのたびたびたき出し、差し入れにありがたく思います。家の中、家の回りの水位の汚れをみると今でも涙が出ます。

④ 今回学んだことや教訓はどんなことですか
自分でうれしかった事など何かの形で協力したいと思います。

⑤ 今後のことと考えていること、悩んでいることはなんですか
自分の生きている時代位は住めるだと思いう気持ちで1年前にリフォームしましたがこれから何百万もかけて直すことは無理なので若い人にまかせて新築する予定なので不安があります。

⑥ まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか
常総の商店の復興をしないとどんどん暗くなっていきます。明かるい町作りにしてほしいです。買物もどんどん外へ行ってしまいます。

⑦ 行政に望むことはなんですか
町の復興の予算を下さい。

⑧ 市外の人たちへのメッセージをお願いします。
大変ですけれども言葉をかけて下さっても被害にあった人ではないとわからない。常総の街に来てみて下さい。いつもいろいろありますがすごしています。

被災者の声 匿名

① 9月10日から今までどうすごしてきましたか
最初、市役所へひなんしました。次に、あすなるの里へひなんしました。

② 生活はどこがどう変わりましたか
他人との長い共同生活で、ストレスを感じました。

③ うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか
色々な人に助けられてうれしかったですし、感謝しています。

④ 今回学んだことや教訓はどんなことですか
ボランティアの人たちが、たくさんやさしくしてくれました。こんなにも良くしていただけとは思っていなかったのでおどろきもありました。

⑤ 今後のことと考えていること、悩んでいることはなんですか
主人の体調のことです。あとは住居のえいせい面に不安があります。

⑥ まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか
一日一日を元気に過ごすこと。

⑦ 行政に望むことはなんですか
ぎえん金をいただと、生活保ごのお金の支きゆうが止まるシステムに不安をいだいています。かいぜんを望みます。

⑧ 市外の人たちへのメッセージをお願いします。
ともにがんばりましょう。



匿名 被災者の声

① 9月10日から今までどうすごしてきましたか
命がある事の幸せをしみじみ感じました。まず、今日、1日、しっかりと過せば明日に繋がると思い、気がついて、今日があります。我家の合い言葉は「命が有れば、何でも出来る」です。

② 生活はどこがどう変わりましたか
家を流され、車も流され、身一つで、スタート。今まで使っていた物を全部、買い揃え、なければならぬストレス。35年間で買い集めた物が数ヶ月用意出来る訳がないですね。時間とお金がかかるので大変です。通勤路も変わり遠くなって神経を使います。

③ うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか
回りの皆様の暖かい、「ご支援が気持ちを癒やして頂きました。心より感謝致しております。」

④ 今回学んだことや教訓はどんなことですか
経験は思いがけない時に活躍出来る事が。今回の濁流に流された時、水中の中で50年前(小学生)に溺れた時の事を思い出し、その時と同じ様にとっさにジャンプをして水面に上がる事だけを考え、迷いはなかったです。若い世代の方達に辛い時でも逃げない、嫌な時でも工夫して乗り越える先には必ず、強い自分がいますよ。

⑤ 今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか
有りません。今日無事過ごす事で明日にバトンを渡せる事を心がけて先を考えるより今です。

⑥ まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか
一人、一人が意識を持って、行動して行く事です。

⑦ 行政に望むことはなんですか
全壊の人達の事を良く考えて頂ける事を願っております。どれだけ出費がすごいのか、自分達の家の中の物を計算して見て下さい。私達は悪く無いですよ。その分の金額を上乗せして下さい。宜しくお願い申し上げます。

⑧ 市外の人たちへのメッセージをお願いします。
自分を信じて、自分の考えで行動して下さい。迷いは駄目です。「何事もです。」

匿名 被災者の声

①9月10日から今までどうすごしてきましたか

水害直後、母と2人豊里交流センターに避難をし、母は中で、私は猫がいたため車の中の生活。母は体調を考え、弟の家に1週間後に移動しました。私は、車上生活で10日後、足に異常なむくみが出て、医者に行くところ、エコーミール症候群と言われ、猫だけ車で私は避難所の中での生活にしました。10月10日の閉鎖まで交流センターですごしましたが、毎日とは言えずつらかったです。10月10日からはあすなろの里に移り、現在の宿舎に移る迄生活していました。息子は水害当初、消防団の一員として、救助活動にあたり、かろうじてすめた家の2階で宿舎に移るまで離ればなれの生活をしていました。

②生活はどのように変わりましたか

10月2日に母が敗血症で1カ月入院し、それから10日後、慣れない宿舎での生活の中、夜トイレにおきてふらつき手の指を切り、それも治ったやさき、12月16日夕方ころんで骨盤骨折で今現在入院生活を送っています。私と息子も並木から職場まで、今までの倍通勤時間がかかり、2人共に夜中におきて出かける事もあり、体にかなり厳しいものがあります。母にいたっては、私達に捨てられるという思い込みが芽ばえてしまし、心も体も不安定になってしまいました。

③うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか

ボランティアの方々の思いやりのある言葉と行動です。又、どこから手をつけていいのかわからない家のかたづけの時、息子の同級生や友達が、すぐにかけつけてくれて、手伝ってくださった事です。何よりも涙が出る程嬉しかった事です。つらかった事は、今までずっとです。あの日から、今もつらい思いは続いています。家が建替えられて、家族3人と愛猫の、のんちゃん、常総市にもどるまで変わらないと思います。自分の家が水の中にある光景に涙が止まらなかったあの日の事は、忘れられるものではないです。

④今回学んだことや教訓はどんなことですか

私が思う事は、何に対しても行政の対応は遅いと思います。それと、今家には固定電話がありません。こういう場合に限り、宿舎でも今までの電話がつかえる様な対応があつてもいいと思います。又、新築する家は、水害、地震に強い家に立て替えてもらう事になりました。自分の家が、こんなにもろい中に建っているとは思っていませんでした。

⑤今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか

やはり、お金の事だと思っています。解体にあたって木々の伐採、家電の撤去費用、そして宿舎の共益費、入院費等、かなりまとまったお金がかかりました。職場のパートさんも水害にあつた方がいますが、やはりお金が1番のネックになっていると言っていました。

⑥まちやぐらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか

人手だと思います。人手不足が家の再建にしても、復興にしても、さまたげとなっていると思います。

⑦行政に望むことはなんですか
何に対しても早い対応をしてほしいです。あぶないと言われる場所、事に対しては、すぐになおしてほしいです。

⑧市外の人たちへのメッセージをお願いします。

私は、自分が水害にあうなどと、夢にも思っていないませんでした。テレビの中の事、ここは大丈夫……そう信じていました。だけど、現実におきてしまいました。自然のこわさを決して忘れず、おかしいと思った事に対しては声を大にして伝える事だと思います。

匿名 被災者の声

①9月10日から今までどうすごしてきましたか
9／10午後17:00頃、娘夫婦つくば市へ避難する。9／27頃まで娘夫婦、姉、妹の3件の家でお世話になりました。9／14水が引いたので親戚、ボランティアさんに手伝ってもらい、家の中、外回りの片づけ。その後は、二人で田、畑、家回り片づける。9月末に家に戻る。2階を利用。水事は納屋で。娘夫婦は、近くのアパートに入る。孫の学校（大生小）の送迎をしています。

②生活はどこがどう変わりましたか
水回りが使えない。床上なので生活用品が全部なくなっていました。家族がバラバラの生活。

③うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか
避難所ではなく、親戚でお世話になり良くしてもらった。死生活用品がなくなり、思い出の物が全部捨てざるいかなかったこと。多ぜいの人からお見舞い頂いたこと。ボランティアさんの炊き出しおいしい。暖かいおにぎりが良かったです。

④今回学んだことや教訓はどんなことですか
大事な物は二階に、持ち出せる物などは早めに移動する。近所に声をかける。

⑤今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか
生活用品購入が大変です。金銭面。健康面。（毛布有難うございます。）

⑥まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか
堤防の強化（スーパー堤防）災害のマップを作る（遊水地を作る）（堤防があぶないとなった時、川の上流から両側の低い所、田んぼに入れ、住宅を守る、田の補償をする。）

⑦行政に望むことはなんですか
井戸水の故障（ポンプ）修理に時間がかかった。市の水道も入っていなかった。ポンプ修理などボランティアで出来人など費用の補助なども考えてほしい。農家の人への補助（農業続ける人が少なくなってしまう）水害が二度とこないよう考えて下さい。

⑧市外の人たちへのメッセージをお願いします。
ボランティアさん、支援物資などほんとうにありがとうございました。ふるさと納税ありがとうございました。

匿名 被災者の声

①9月10日から今までどうすごしてきましたか
水害後毎日毎日休みなく片付けをし、肉体的にも精神的にも疲れはててしまいましたが、つくばの交流会に出席させて
いただいたからは、お陰様で少しずつではありますすが前を向ける様になりました。

②生活はどこがどう変わりましたか

・官舎の生活で近くに知人もおらず心細い毎日ですが毎月ジュントスさんが交流会を開いて下さる事を楽しみにしています。
・12月26日の交流会では多くの支援物資をいただき、特に食器類がそろったので食事を作る気持ちになりました。今までは毎日お弁当等出来た物で生活をしていました。運営していただいている皆様感謝致しております。ありがとうございます。

③うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか

・ジュントスさんには色々助けていただいていたありがとうございます。家の片付け支援物資引越等々こまっている時に
・「ゴ」すると親身な対応で敏速に要望を叶えていただきました。心細かった折、とてもうれしかったです。この場をおか
りして、代表を初めスタッフの皆様にお礼申し上げます。
・その他多くのボランティアさん（大阪タツシユ隊のたけちゃんマン、トムさん、守谷高校生、常総学院生、ボランティアセ
ンター等々の方々）片付けを手伝っていただいている時は神様のように見えました。ありがとうございます。

④今回学んだことや教訓はどんなことですか

今後は気象情報や回りの気象を常に意識し、最悪の状況になった時の事を考えて、災害が起きたら、どの様に行動した
ら良いか日頃からシミュレーションをしながら生活したいと思っています。

⑤今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか

官舎にお世話になっていますが、自宅は取り壊す予定で、再建は難しく2年後にむけて、どの様に対応したらよいか毎日
悩んでいます。

（1年半前に外壁、洋室、脱衣所、屋根、ベランダ等タリフォームしたばかりの為ショックが大きく再建が出来ません）

⑥まちやぐらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか

市内の水害にあつていない人が自分の家は東側が切れたので助かったと言ひ、ヤジ馬的に水害の状況を聞いてくると避難
所で度々耳にしました。水害に合っていない人達がもつと行動を興し、皆で一緒に（人ごみでは無く）コミュニケーションが
取れるような場所があれば良いと思います。

⑦行政に望むことはなんですか

復興住宅、市営住宅を作つていただき、災害があつた多くの人が入れる様にしていただければ、避難先から戻り人口流
出の歯止めになると思います。

⑧市外の人たちへのメッセージをお願いします。

つくば市の学院大学の先生、市民活動センターのスタッフの方には引越直後から親身な対応をしていただきありが
とうございました。
全国のボランティアさんが片付け、マッサージ、整体、炊き出し、コンサート等々で来ていただき、支援物資もたくさん寄
せていただきましてありがとうございます。
なにかの折にはこのご恩を全国の方にお返ししたいと思っております。

被災者の声 匿名

① 9月10日から今までどうすごしてきましたか
仕事をしながら休日は家の掃除や片付けに追われ、現在はリフォムの為アパート生活しています。

② 生活はどこがどう変わりましたか
気持ちに余裕がなく、楽しみがなくなった。

③ うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか
人とのつながりの有難さを改めて感じた。
情報が少ない為、市役所へ何度も足を運ぶのが大変でした。

④ 今回学んだことや教訓はどんなことですか
避難指示が出たらすみやかに行動すること。
自然災害を甘くみない事。

⑤ 今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか
ゲリラ豪雨や台風で脇道が冠水するので、また浸水するのではないかと不安。

⑥ まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか
水害のまちの悪いイメージを取り除けるような魅力あるまちづくりを目指す。

⑦ 行政に望むことはなんですか
二度と同じ事が起きることのない様に整備を早急に進めてもらいたい。被害者に不快な思いをさせるような対応をせずに柔軟に接して欲しい。

⑧ 市外の人たちへのメッセージをお願いします。
水は引いて、今現在何もなかったかのように見えますがリフォームする事がままならず、不衛生な生活をしている人たちもまだいます。東日本大震災は今だに騒がれていますが、常総市の水害は日に日に忘れられつつあります。しかし、まだまだ正常の生活に戻れていないのが現状です。引き続きあたたかいご支援よろしくお願いたします。

橋本町の声

①9月10日から今までどうすごしてきましたか
2軒ある家の水没していない方の2階で暮らしています。
食事は外食とコンビニ弁当が中心。

②生活はどうが変わりましたか
大きく変わりました。まず、食事やくつろぐ場所がなくなりました。食事は床のない居間で立って食べるか、イスに座って素早く摂っております。

③うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか
1階の家具や荷物が一時的に片付けなくてはならず、どこに何があつたか不明になり、不自由な状態となっております。床下に2回落ち血圧が160代で上昇しました。大変ストレスを感じており、疲れで部屋の中で倒れ右足首を骨折しました。部屋に居るだけで気が沈み憂鬱になります。うれしいことは時々ボランティアの方が声をかけてくれることです。毛布ありがとうございました。大変助かっております。

④今回学んだことや教訓はどんなことですか
災害時は誰も助けてはくれない災害時のことです。自分で自分の財産と家と自分の命を守るだけです。消防も市も力にはなりません。自己の考えと判断、そして体力が勝負となります。

⑤今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか
家の修理を誰に任せるか、その判断に相当なエネルギーを費やしました。現在は何とか工務店を見つけられ着工の予定がたちました。

⑥まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか
他者に依存する者は自立する力を削ぐことになると思います。行政は情報の支援(復工に対しての行政側の情報であつて、全てについてではない)
老人や病者など弱者に対する支援を行政側で厚くし、同時にコミュニティ側での市民の力も利用する
健全な市財政をこの機会に立案し、ムダな支出を減少させる市会議員数の削減、市職員の効率化とおお
就職機会の増加のため公的な一時採用枠を設け臨時職員を採用し、若い人の仕事を確保する。

⑦行政に望むことはなんですか
前に述べておりますが、全てを市に要望することは本末転倒です。市民はそれぞれが自分で再建を考えるのが基本だと思っています。何でもかんでも市に要望すべきではないと考えます。行政側は不用品な人員を削減し能力ある市民を活用する一時的なパート職でもよいので若い方の雇用の機会をみつめてゆく、能力ある人材については常勤につけるようにすること。水海道市という名称を我々は誇りに思っております。

⑧市外の人たちへのメッセージをお願いします。
常総市は我々市民にとってはなじみのない無味な名称です。我々は「水海道市民」の意識が強いのです。常総市は有名になりましたが、水海道という旧名称は市外の方々にも強いイメージをまだまだ持っております。
美しい旧水海道市は鬼怒川と小貝川の両川の間にあって昔から他に見られない故郷であることを発信していきたい。

本石下の声

① 9月10日から今までどうすごしてきましたか
9月11日から避難所と家の往復です。10回くらい通いました。家に帰っても生活する為の物が無いので大変でした。毎日家の掃除でした。最初は親戚の人達も来てくれましたが10月頃から1人で掃除でした。10月末頃から職人さんが来てくれました。職人さんも忙しいので2回に分けてきてくれました。リフォームが終わったのは12月20日ごろでした。

② 生活はどこがどう変わりましたか
二階での生活は不便でした。夜になるとどうなるのか考えて暗くなっていました。

③ うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか
近所の人に親切に助けられました。(車が水に浸かった為)

④ 今回学んだことや教訓はどんなことですか
洪水のこわさを知りました。今までは他人事でした。反対の立場になった時、人には思いやりを心がけたいと思います。

⑤ 今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか
1人での生活なので老後が心配です。

⑥ まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか
今まで自分の事しか考えてなかったです。これから考えたいと思います。

⑦ 行政に望むことはなんですか
洪水がおきないように国、県にお願いしたいです。

⑧ 市外の人たちへのメッセージをお願いします。
ボランティアさんに手伝っていたとき、ありがとうございました。前を見て頑張るしかありません。



声の下石本

① 9月10日から今までどうすごしてきましたか
2週間は避難所で世話になりながら日中は家の片付け家に戻ってからも2階でしか生活できず電化製品も全てダメになり、まともな食事を取る事が出来なかった。
11月初旬大工さんに入ってもらい修理が始まった。

② 生活はどことがどう変わりました
修理代を少しでも安くする為と早く仕上げてもらおう為、畳だった部屋も全てフローリングに壁はクロス貼りにしてもらったので何となく寒く感じられる今迄積み重ねてきた生活そのものが流され寂しい。

③ うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか
人手が少ない我が家にとつて子供の学校時代の友達、ボランティアの方々の片付け応援がうれしかった。
つらかったことは頑張つて4年前にリフォームしたのに今回の災害で大規模半壊になり、1階部分の全て失った事。

④ 今回学んだことや教訓はどんなことですか
避難指示が出たら早めに指示に従う
近所の人と声かけああ合つて、同じ場所に避難すれば情報も入手しやすい。地震と違つて水害は車別々に乗つて行く。

⑤ 今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか
予算の関係上、壁のカビ、床のシミが出ている場所も直しきれない所がある。今は冬なのでそれほど急いで修理しなくてもよさそうだが今後梅雨の時期や夏を迎えた時が心配。

⑥ まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか
とにかく安心して今迄の場所に住める様堤防の工事をしっかりしてほしい。今までは雨が降つてくると不安になつてくる。

⑦ 行政に望むことはなんですか
支援金の配布で単身世帯は4分の3の額を支給された。最初から一人世帯であれば部屋数も必要ないかもしれないが家族があつたわけだから被害をうけた場所は一部屋だけで済むものではない。多数世帯を比べ収入もすくない上に受けられる金額は4分の3ということに納得がいかない。

⑧ 市外の人たちへのメッセージをお願いします。
心配してくれる人もいれば無関心の人もいると思う。災害はいつどこに起こるか分からないので人事とは思わないでほしい。
いろんなところからたくさんさんのボランティア方々本当に感謝しております。有り難うございました。

若宮戸の声

①9月10日から今までどうすごしてきましたか
夜中の2時30分、指示。すぐに避難所へ行きました。それから2ヶ月位、床は4か所全部切って穴だらけ。夜はおちたら大変とびくびくしました。新しい軽い畳が入った時はホッしました。今日で4か月。夢を見ていたのか。いや現実なのです。

②生活はどのように変わりましたか

思いがけずお金が必要だったこと、電気製品(冷蔵庫、冷凍庫、クーラー3台、風呂ボイラー、コタツ、ストーブ3台、キッチンセット)これが大変です。まだ入っていません、他いろいろ。畳24枚等です、自動車もです。又、泥をかぶった物、あのさわぎの中、捨ててしまい気がつくとな大変な物が沢山あることです。

③うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか

人の温かい心をいただいたことです。すぐに多くの友達がかけてくださいます、あれやこれや、ボートとして私にかわり片付けをしてくれました。あまりのすごさに頭の中がまっ白になってしまふのです。ありがたかったです。車もなく、冷蔵庫もない生活、今まで当たり前だった便利さをおもいしらされました。いただいた食べ物や次の日どうしようか……。ここで具合が悪くなったり……。と思い、もったいない心とがゆれ動きました。2ヶ月位、庭いっぱいガレキの山、泥水をボランティアの皆さまが手弁当で頑張ってくれたこと、うれし涙の日々、又家中のヘドロ、家具のそうじ、建具のそうじ、イヤな顔もしないできれいにしてくれました。ありがとうございました。いつの日か何かの心で返せたらと思います。

④今回学んだことや教訓はどんなことですか

人生長く生きているいろいろな事があるものです。以前にある僧侶の方から魂の話の話を聞きました。人が亡くなると閻魔大王の所へは魂だけが行くそうです。大王様はピカピカ丸い魂とガチガチの魂で天国か地獄か決めるそうです。この度ボランティアの皆さん、私の友達はきつと丸くひとまわりきれいになったことでしょう。その反面、私達の近くの山の自然堤防の山の木をソーラー建設のため、根こそぎぬいた人のいた事も残念なことです。いつか水害が起きることはわかっていました。甚大な被害が出ました。家もなくブロック塀もおされ、又、家の修理ため4か月たつても夜暗い家が沢山あります。つらいことです。又、泥棒にも入られました。このような事をして反省しない人のこと……。その人達に言いたいです。今からでも魂が丸くなるように生きて下さい。心から思います。(人間年をとつても、一日一善無理しなくても小さい事でもピカピカ丸くなるそうです。実行してみてください。)

⑤今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか
一日も早く堤防が出来る事です。このままでは安心して住めそうにありません。

⑥まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか

みんなが水のおそろしさを話し合うことだと思えます。常総市は鬼怒川と小貝川があるのですからこれからも洪水の事を忘れないでいかなければいけないと思います。二度とおきないようにしなくてはなりません。

⑦行政に望むことはなんですか

まだまだ家の修理にお金がかかります。国から支援をしてほしいです。どうぞよろしく願います。常総市が住みよい市になるように頑張ってください。

⑧市外の人たちへのメッセージをお願いします。

私はつくば市の避難所にお世話になりました。大変良くして下さいうれしかったです。ありがとうございました。遠く仙台、東北の方から炊き出しもうれしかったです。おいしかったです。ボランティアの方達、一生懸命汗水流して夕方帰る時、交通事故などないように祈りました。皆さん笑顔がすてきで、やつれた私も救われました。なかにはフランスに住んでいる女性も帰国の合間にお手伝いして頂きました。心から感謝して居ります。

相野谷町の声

① 9月10日から今までどうすごしてきましたか
9月27日まで市役所に避難し、その日の午前中息子のアパートに世話になる。現在も続けている。

② 生活はどこが変わりましたか
全て変わる。食事から夜寝るまで時間が全く違い息子の食事作り体も疲れがとれず医者(病院)へ行くにも電車を利用しなくてはならないので(朝早いので)息子にはもつたない程度良くして頂き何のお返しも出来ず思いも思う。

③ うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか
誕生日はテレビも買ってくれケーキも焼いてくれ、又mount-bee(山岳用メーカー品)の下着から上着すべてプレゼントしてくれて涙の出る程です。早く家に帰りたい。
病院に関する本や広辞林がなくなったので不便です。

④ 今回学んだことや教訓はどんなことですか
朝からへのニュースを見ていたので下着や服など二階にあげ、また医者に行くのでその関係の物も全部二階に上げる。常に台風が来た時も同じようにやっていた。二度とこの様な事がいないように。

⑤ 今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか
ここに住むか引越すか考えている。

⑥ まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか
今までもあまりあてにせず自分の信念で生活して来た事なので今後も同じと思います。

⑦ 行政に望むことはなんですか
あまりあてにならない。自己判断で行動するしかない。

⑧ 市外の人たちへのメッセージをお願いします。
この様な事がないとわからないと思うし、市外の方、又皆様に世話になり申しわけない。

平町の声

① 9月10日から今までどうすごしてきましたか

9月11日～11月30日 石下総合体育館12月1日～28年1月15日 第一ホテル

② 生活はどこがどう変わりましたか
不便である

③ うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか
ボランティアさんの支援
資金不足

④ 今回学んだことや教訓はどんなことですか
早く避難すること

⑤ 今後のことと考えていること、悩んでいることはなんですか
水田の復旧

⑥ まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか
堤の保全

⑦ 行政に望むことはなんですか
同上

⑧ 市外の人たちへのメッセージをお願いします。
堤の保全

匿名 被災者の声

① 9月10日から今までどうすごしてきましたか
知り合いの家にお世話になりました。生活用品がなくなり辛い生活。

② 生活はどうかどう変わりましたか
今案で質素な生活をしていましたが水害ですべてをすててしまった事です。

③ うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか
着る物をいただいて本当に助かりました。長年住み慣れた家を失う事になった事が大変つらかった。ボランティアの方々に助けられて大変うれしく助かりました。感謝しています。

④ 今回学んだことや教訓はどんなことですか
自主的に避難する事皆さんと手をつないで頑張つて行く事だと思います。

⑤ 今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか
健康に気をつける事経済的な不安。

⑥ まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか
皆さんと協力し合う事だと思います。

⑦ 行政に望むことはなんですか
平等に？

⑧ 市外の人たちへのメッセージをお願いします。
感謝しています。

被災者の声 匿名

① 9月10日から今までどうすごしてきましたか
3日間避難生活。それから畳、家具等が無い家に戻り生活をしました。今はリフォームもたいして出来ない家で生活しています。

② 生活はどこがどう変わりましたか
家具等が買えないので不便な生活をしています。

③ うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか
友人(女性)から衣類や食品等をたくさんいただきありがたかった。

④ 今回学んだことや教訓はどんなことですか
命を大切にすること

⑤ 今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか
生活がくるしい。

⑥ まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか
早く元のくらしに戻りたい。

⑦ 行政に望むことはなんですか
復興を早くしてほしい。

⑧ 市外の人たちへのメッセージをお願いします。
他人事ではなくいつ自分の身になにかあるかわかりません。気をつけて生活してください。



淵頭町の声

① 9月10日から今までどうすごしてきましたか
避難所暮らしです。本当に大変な暮らしです。とても悲しい。

② 生活はどこがどう変わりましたか
これから家に戻りますが不安だらけで恐い。まだ家の中には何にもありません。これから以前のような生活は
のぞめないかもしれない。

③ うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか

寝つかれない。家に戻れない事大規模半壊になり、信じられないほど水につかってしまった。その爪痕は恐怖で
す。何もなくなりました。避難所での食事はとてもつらかった。時々の炊き出しもありますが、みじめな気が
した。

お友達ができたこと多くのボランティアに支えられました。これは感謝です。

④ 今回学んだことや教訓はどんなことですか

早く避難すること。もつと早く危険であることを知らせをしてほしかった。避難者になるとこんなにも大変な
のか、食事もあったかいものなどないし日がたつにつれてつらかった。入院する人もいた。

⑤ 今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか

災害のない街を作って頂きたい。人口が減ること。また水害がくるのではと不安がつのります。水門の点検を
しっかりとしてほしい。日本はどこにでも起きる災害だけど、防げる災害もあります。早めに避難を呼びかけて、
それが空振りでもいい。川のバイパスでも作ったらいと思うのだけど。

⑥ まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか

早くもとのようにしてもらいたい。お金です。お金がなければ何も出来ません。水海道の町は、これからさび
れる一方ですよ。こんな大きな災害を出してしまつて本当に悔しい。安全な町であつてほしい。

⑦ 行政に望むことはなんですか

なまぬるい。もつと避難している人達のことを考えて頂きたい。もし災害で避難しなくてはならない時は、早
く歩けない人もいますので、そんな時は車も用意してくれた方がいい。もう少し機転をきかせてほしい。近くに
高い場所でもあればと思った。私の家には病人もいるので実感した。もし車もなくて歩けないとしたら、どう
すればいいだろうか。

⑧ 市外の人たちへのメッセージをお願いします。

とにかく危険を感じたら早く避難してほしい。大事なものは身近におくこと。明日は我が身だからね。まだ大
丈夫だろうなんて考えないで逃げる。自分の身を守る。

三坂町の声

①9月10日から今までどうすごしてきましたか
5ヶ月と過ぎたのに何かしなくてはと思いながら、ただばくぜんと毎日を過ごしてしまいました。

②生活はどこがどう変わりましたか

今までの日々がリズム的に目標に向かって生活してきましたが、一ぺんして変わってしまった。さあ明日からどうしようか？の不安がよぎる毎日。

③うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか

悲しい時にやさしく接してくださったボランティアさんに感謝です。自分で自由に動けないもどかしさ。50年の節目を（12月）で迎えて、お祝いをしてくれる楽しみが、あのうずの波に何もかも流されてしまい最後を見ることができなかったことが心に残っておりま、思い出してはつらくなります。

④今回学んだことや教訓はどんなことですか

常にいざという時の心がけはわかっているんですが、いざとなるとあわててしまいます。ので、常に非常時に持ち出すものと避難所と通路を心掛けておく必要があると思いました。

⑤今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか

生活をしていく不安がありますが、家が建ったとしても廻りをどうしようかが今までのように畑と庭などするにしても自分一人では出来るだろうか？悩みます。

⑥まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか

若者が自分の田舎に帰りたいなと思うような所。町の中をもう少し明るくする。
高齢者がなにか（例えばスポーツなど）楽しく出来る場所を作る。町から外れた所ではなく、町の中にはどうか。

⑦行政に望むことはなんですか

農村地帯である以上、人口はあまり増えないから、もう少し人が入ってきてもいいようにしなくては町はさびれてしまう。

⑧市外の人たちへのメッセージをお願いします。

復興にあたって数々の品、そして義援金などをいただきありがとうございました。なにかとお手伝い・相談していただきボランティアの方々には本当に感謝いたします。

若宮戸の声

①9月10日から今までどうすごしてきましたか
早朝、下妻市立千代川中学校体育館に避難し、午後千代川体育館へ変更になり26日まで避難所生活、朝方家に帰り家の片付けを行い、夜は避難所といった生活が続きました。26日からは石下総合体育館に移り12月7日まで品所と家の片付け生活、12月8日から第二避難所、12月25日まで12月26日から自家での生活に戻りました。しかし、何も無い所で生活は被害を受けた人でないと思分らないと思います。

②生活はどこが変わりましたか
一階にあった物が水に浸り、冷蔵庫、石油給湯器、ストーブ、クーラー、扇風機、衣類、和洋タンス、フトン、パソコン等々が使えなくなり捨てた。失ったものが多く、これらを揃えないと元の生活に戻れない。

③うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか
9月11日避難所から家に戻り、庭は穴ぼけ、塀は倒され、家の中は泥水が入り、畳は泥を被り、物が散乱し、手を付けられない状態で愕然とした。何でもこんな被害になったのか、いままで(昭和13年以來77年間)、国交省は無堤防のまま何をしていたのかと怒りが込み上げて来た。無堤防が約8000あるが山林の高い所があるから被害は起こらないだろうと想定していたのだろうか？だとしたら、この被害の責任は、人災で、国が損害補償をすべきではないか？うれしかったことは、ボランティアおアさんの手助けがあったこと、非常に有難く感謝しています。

④今回学んだことや教訓はどんなことですか
各地で災害が発生するとボランティア組織がいち早く現場活動している所をテレビ、新聞等で目にしますが、今回の被害での活動に接し、有難く思います。自分も20歳若ければ、ボランティア活動に参加して困っている人の役に立てたらと悔やんでいます。

⑤今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか
失ったものを徐々に買いながら充実した老後生活を送りたい。悩んでも始まらない。国の補償をお願いする。

⑥まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか
住民が安全で安心して暮らせる対策の実行かな。

⑦行政に望むことはなんですか
今回の災害で困った事は、市役所の機能が麻痺したため住民の要望対応ができなかった(市役所も浸水した)。今後災害のない事を祈るが、仮に緊急事態が発生した時は、各部署の統一をはかり、特別緊急対策室を設置して避難住民の要望を瞬時に対応できるように望む。

⑧市外の人たちへのメッセージをお願いします。
全国各地からボランティア組織の人達が、家の片付け、泥かき等を手伝って頂き大変助かり有難うございました。まだ避難所や地区での支援物資の提供、食事会、お茶会の開催など、またCINOSさんから頂いた電気毛布使っています。有難うございました。

森下町の声

① 9月10日から今までどうすごしてきましたか

家族全員の協力で大工作業全般を実施して来た。床下乾燥、シロアリ対策、防腐対策、床下ケタ補強、床フローリング張り、台所流台の交換、新設、クロス、石こうボード張り等々の作業で朝早くから夜遅くまで多忙に過ごしていました。12月中旬にほぼ修理作業が終了したがまだまだ細かい作業が一杯残っています。大変な作業量でした、今からまた一頑張りしなければ明日はない！

② 生活はどこがどう変わりましたか

① 多くの出費の為、節約生活になった② 多忙の為、日々の健康管理の気配りをする様になった③ あらゆる事に対して危険予知をする様になった④ 積極的なボランティア活動等に参加する様になった

③ うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか

① 市民、県民、各ボランティア様、友人、兄弟、家族全員による協力、助力が何よりも幸せだった。12月中旬作業がほぼ終了した時、達成感に涙がこみ上げた。② 台所水没したので、自炊が一ヶ月以上出来なかったこと③ 車水没で手続き等、代車確保に自力で実施してきたので大変苦労した。

④ 今回学んだことや教訓はどんなことですか

① 助け合いと忍耐の精神が身についた。② 情報収集及び危険予知の不足が目立った。③ 正確な情報の不足。行政危機管理不足の改善等

⑤ 今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか

① 高齢になりつつあるので、二度とこの様な災害を何としても防止しなければならぬ。それには行政、市民が一体となり建設的な意見を出し合い前へ前へと進むべきである。行政と市民が一体となること。② 年金暮らしで経済的に余裕もなく、又体力的にも低下の一途をたどっているので頑張りがきかなくなる事が心配である。

⑥ まちやぐらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか

① 市民全員の協力と助け合いが必要となる② 前向きな意見を行政に出す。そして話し合いをすること

⑦ 行政に望むことはなんですか

① 危機管理、災害防止対策室(仮称)の新設検討。地球温暖化で何が起こるか分からない為。② 自然災害に対する避難及び危険予知訓練を定期的に実施させること、地区ごとに。③ 県議、市長、市議代表1名の参加で定期的に各地区ことの市民と会合を持つこと。⑤ 通常業務は常に危機感を持って当る事

⑧ 市外の人たちへのメッセージをお願いします。

① 義援金、物資、ボランティア活動、お心遣いにただただ感謝感謝で一杯です。本当に有りがとうございました。二度とこの様な災害が起らない様に行政市民が一体となり頑張ってくださいますので御指導の程よろしく願っています。

本石下の声

① 9月10日から今までどうすごしてきましたか
避難所生活は一週間、今は自宅で生活しています。

② 生活はどこがどう変わりましたか
前の生活とあまり変わりません。

③ うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか

④ 今回学んだことや教訓はどんなことですか
人のやさしさ、家族の絆、品物を増やさない事。

⑤ 今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか
再度の水災害が心配です。

⑥ まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか
お金です。お金があれば何でも出来る。

⑦ 行政に望むことはなんですか
危険な場所は放置しない。早く対策をとって下さい。

⑧ 市外の人たちへのメッセージをお願いします。
多くのボランティアの人達と多大な義援金、援助物資など本当にありがとうございました。



中妻町の声

①9月10日から今までどうすごしてきましたか
9/9から市役所、9/15から友達、9/20からまた市役所（この時は自分1人と子供1人です）。9月下旬、自分・妻・子1人であすなろの里へ移動しました。そして12/2第一ホテルへ3人で移動しました。

②生活はどこが変わりましたか

三交替の仕事をしているので、避難してからはお風呂が入れなかったり、自分で買って食事をしていました。ただ第一ホテルでは、お風呂は毎日入れました。選択も物がたまって休日による感じでした。妻が足が悪いので、いろいろと不便な面がありました。妻はやはりあすなろの里では、毎日お風呂に入れなかった事です。

③うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか

つらかった事は、やはり以前の生活が出来なかった事です。車2台水没、貸家も解約。うれしかった事は、みなさまの援助、ボランティアの人の助けです。避難所のあすなろの里では、色々な人とふれあい、色々話をできてうれしかったです。子供もみんなで見てもらいました（食事・お風呂・遊び）

④今回学んだことや教訓はどんなことですか

普段から人間関係をくずさず、助け合う事、ありがたみ。車は高台に移動、もしくは遠くへ移動（大丈夫だと思っていると大変な事になる）貸家を借りている人で、その大家さんは災害時アテにできない。

⑤今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか

また水害があったらどうしよう。市長の事（今後）。車の事（買えない）。お金の事（まだまだ色々そろえる物がある）。

⑥まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか

市長が変わる。市民の声を聞きたい。議員さんの声も上司が聞きたい。ボランティアの人達の高速道路無料化。ペトとのくらし。

⑦行政に望むことはなんですか

物事を早く決めて、早い行動。以前あった事で、避難所移動の際、1週間前だったので、せめて2週間前。ボランティアの優遇処置。

⑧市外の人たちへのメッセージをお願いします。

避難時は落ちついて行動。車は高台に移動、もしくは遠くへ行く。色々と助けてくれる人がいるので、自分も助け合う。

声の下石本

① 9月10日から今までどうすごしてきましたか
1週間、娘の所に避難していた。家に帰れるようになってからは、2階で2か月半生活していました。ふつうに生活できるようになったのは、12月20日過ぎでした。

② 生活はどこがどう変わりましたか
普通に生活していて、水害のために身のまわりの物、家財道具、生活用品殆どが水につかり、みんな捨てた。とつてもつらなかった。なみだができました。

③ うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか
皆さんからの支援、はげまし、多くのボランティアの方、友人、ご近所の方、身内の者からの支えがあったからこそ、ここまでやってこれた。

④ 今回学んだことや教訓はどんなことですか
人のやさしさ。色々の方にお世話になったことです。

⑤ 今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか
また水害がおきたらと、先のことまで悩んでいる。年金暮らしだから、脳梗塞をやっているから二度とならなように心配です。

⑥ まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか
被災場所で安心してこの先いけるのか。人口流出を防ぐこと

⑦ 行政に望むことはなんですか
市や県にできるだけ支援をしてもらいたい。また二度と水害がおきないようにしてほしい。

⑧ 市外の人たちへのメッセージをお願いします。
みんな頑張って生活できるようお願いします。

森下町の声

① 9月10日から今までどうすごしてきましたか
二人で本家の家で避難していた所にボートで助けてもらい、それから八間堀のから車で豊岡公民館へ避難しました。

② 生活はどこがどう変わりましたか
公民館で一カ月ぐらい避難しました。子供二人が独立してましたところ来てくれて世話になりました。

③ うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか
ボランティアの方々に大変お世話になり、家をきれいに掃除をして貰いました。親類の人に大変助けて頂きました。

④ 今回学んだことや教訓はどんなことですか
水・食料など用意をしておくことです。

⑤ 今後のことと考えていること、悩んでいることはなんですか
健康です。体に気を付けることです。

⑥ まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか
安心できる町にしてほしい。

⑦ 行政に望むことはなんですか
水害のない町にしてほしい。

⑧ 市外の人たちへのメッセージをお願いします。
ボランティアさんありがとうございます。

三坂町の声

① 9月10日から今までどうすごしてきましたか
9月10日三坂町の鬼怒川堤防決壊後自宅二階で陸上自衛隊のヘリコプターで救助され、確か5時30分ごろだったと思います。そして、鬼怒川西部地区にある一次避難所の石下総合体育館のグラウンドに降ろされ当日夕食にパン一本を与えられそこから12月8日まで一次避難所の石下総合体育館で過ごしました。約3ヶ月間、何がどうかわからずに毎日を過ごした感があります。その間、家の方のボランティアさん達による家の片づけ、たまった汚泥の除去、石灰まき、消毒などをしてもらいながら一次避難所の石下総合体育館と家への往復、朝9時には自宅へ行き、帰りが遅い。親戚の人の車で移動が長く続き、10月に入ると「COS」さんの送迎ボランティアさんによる自宅を石下総合体育館と行き帰りができました。感謝しています。12月8日には石下総合体育館の閉鎖により、今は一次避難所の石下のかま仙旅館にいます。母親77才の高齢で自分は53才、5ヶ月たった今も家の事、その他の事で頭がいっぱいでハッキリいって頭がボーと実感がわきません。

②生活はどう変わりましたか

まず第一に自宅に住めない、そして、石下総合体育館での共同生活、楽しい日々もありました。しかし、県の応急修理制度など色々な面での市役所の送られてくる書類など77才の母には理解が出来ず自分ですべて書類、市役所訪問、手続きなど毎日が大変でした。最初のうちは、一次避難所の石下総合体育館の避難者たちとの談話など気が落ち着き、話しなどしていましたが、やはり市役所、県などの発表される被災者に対する支援などの話が出てきたあたりから、皆、われにかえった様に今までの和気あいあいだった話にも少し変化が出て来ました。やはり、当初は皆あきらめの感情で話して合っていました。が、やはり現実の世界にもどされた感になり、何故か話の内容がそちら側に一方向的になり、今まで和気あいあいの感情ではなくなってきました。生活は一次避難所の石下総合体育館での支援物資でまかなくなっていました。ただし、朝昼夕の食事は提供は受けていました。

③うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか

うれしかったことといえど一つ家から持ち出すこともできず、着の身着のままで避難所につれて来られ着る物もない、毛布一、二枚だけ支給され雑魚寝状態で何日か過ごしました。うれしかったことは、遅れて支援物資が届き、どうにか衣類、その他の支援物資により3ヶ月間過ごせたことです。毎日の食事、ボランティアさん達により、炊き出しなど毎日があたたかい支援のおかげで過ごせました。これは自分の感想なんです。ボランティアの人達には大変お世話になりました。一次避難所でのがんばるって常総青年会主催の芸能人を招いてのイベントも良かったと思います。ですが、やっぱり思う事は今回の鬼怒川決壊のため家をどう直して行くか心配でなりません。

④今回学んだことや教訓はどんなことですか

やはり災害というものは、他人事ではないという事だと思えます。いざ、自分の番になって初めて全国で被災された多くの人々の気持ちになれたと思います。これからもまだ避難所生活はつづきますが、家に戻った時にどうすれば日常の生活を送れるか不安でなりません。

⑤今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか

今後二次避難所を出てはたして自分の家で生活できるのか
今回の平成27年9月関東東北豪雨災害の前の生活に戻れるのか。親が高齢で家を住宅の応急修理制度で一間、キッチン、トイレなどを直してみても以前の様に完全に直すことが出来るのか。お金の問題もそうです。電化製品もそろえなければなりません。半ばあきらめ感があるのですが、そうも言っていない状況です。先の見通しが立っていない状況で家の修理、家具もほとんどなくなり、あるのは母専用のフutonと自分のフuton位です。母は高齢なので二階にはのほれません。一階をどうにか修理し、そして自分は二階の部屋を利用していかなくてはなりません。

⑥まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか

まずはまちのくらしの再生ですが、家からあまり離れていないところに圈央道が造られています。しかし、自分の家もそうですが、今回関東東北豪雨災害で家のみならず、畑、田んぼなどはまだ復興されていません。常総市三坂町周辺も南保が沢山あり、まだ整地すら行われていない状況です。われわれが頑張っても限界があります。まちやくらしの再生は、国県市でこれからもやっていく事を望みます。

⑦行政に望むことはなんですか

行政については今回の鬼怒川平成27年度9月関東東北豪雨災害で常総市は壊滅状態です。圈央道の工事は進んでいると思いますが、今回の豪雨災害など二度と起こしてほしくない。あのどかだった田園風景、そしてこれから常総市は発展していく市なのです。国も県も市も一生懸命対応したと思います。しかし、これから発展していくはずだった常総市を見捨てないでほしい。

⑧市外の人たちへのメッセージをお願いします。

市外の人たちの熱い思い、常総市民として感謝しています。ボランティアの方々、遠く県外からこれ、常総市の復興を手伝って下さって本当にありがとうございます。

声の下石本

① 9月10日から今までどうすごしてきましたか
2ヶ月間子供の所に世話になりながら片づけをしてきた。やっと終わったが少し心配な所もあるが自分ひとりなのでもういいかなあとも思っている。

② 生活はどこがどう変わりましたか
特に変化はない。

③ うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか
近所とのつながりが強く、助け合えた事が幸せでした。

④ 今回学んだことや教訓はどんなことですか
いつでもすぐ逃げられるように荷物を用意しておきたいと思うが、なかなか実行できない。

⑤ 今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか
これから災害が起きたら、ひとりなので不安です。

⑥ まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか
公民館が使えないのでどうなるのかなと心配している。

⑦ 行政に望むことはなんですか
いろいろな通知が来るがよくわからない。わかりやすいものにしてほしい。

⑧ 市外の人たちへのメッセージをお願いします。
ありがとうございます。

被災者の声 匿名

① 9月10日から今までどうすごしてきましたか
あと片付け、大工さんに修理の依頼とお茶出し。
大量に捨てざるをえなかった家具の最小限の買い歩き。

② 生活はどことがどう変わりましたか
ガーデニングが趣味で大量に花を咲かせていたりしたがそういう意欲はなくなった。とにかく周りに置くものは最小限にと。

③ うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか
うれしかったことは遠くの親類がすぐに駆け付けてきて手伝ってくれたり、同じ町内でも被害のなかった親類が家族総出で後片づけを手伝ってくれたこと
つらかったことは、華道の看板や茶道の道具、思い出のアルバム、何十年と一緒だった昔贈られた大きなアメリカ人形等も捨てたこと。

④ 今回学んだことや教訓はどんなことですか
皆さんからの好意での義援金はとてもありがたいと思いました。私自身関東大震災の募金に協力し、生協に入っているので、たまったポイントは品物に替えずささやかでもいろいろな募金の方に使っていますが、これからも助け合うという気持ちはとても大事だという事を常に思っていたい。

⑤ 今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか

⑥ まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか

⑦ 行政に望むことはなんですか

⑧ 市外の人たちへのメッセージをお願いします。

匿名 被災者の声

①9月10日から今までどうすごしてきましたか
次の日の朝まで二階ですごしました。ボートに乗せていただき迎えに来てくれた娘の所で一週間世話になりました。家に帰り買い物で忙しい毎日でした。おにぎり、パン、水などをいただき炊飯器を買ってごはんをたく生活から始めました。家の方も知人の紹介で早く直すことができました。

②生活はどことがどう変わりましたか
二階のものは、全部残りました(一部)
やはり何もかも失ってみると初めて不自由なのがありました。ボランティアで炊き出し、体育館での品々、本当にありがたく思いました。

③うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか
ボランティアの方々のおかげで食の方はずい分と助かりました。何しろ食べる事での不満はありましたが、夢中でやっていたので、そしてずい分と助けていただいていたうれしかったです。足腰が棒のようになり、長靴での生活はつらかったです。

④今回学んだことや教訓はどんなことですか
生まれて初めての事であり、人のやさしさに心から感謝しています。昔は実家では床下浸水位でしたのでおそろしさは実感してみても初めてわかりました。(今回)

⑤今後のことと考えていること、悩んでいることはなんですか
夢中でやって来たのですが少し落ち着いてくると生活面で考えることです。

⑥まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか
今までは災害のないいい所だと思っていました。これからは人が少なくなつて再生復興にはみんなが前向きであり、ゆとりのある生活を心掛ける事です。

⑦行政に望むことはなんですか
ごみの始末は(廃材)どこへ捨てるのか、業者に頼むしかないと言われました。見積もりの中に入っている値段は大きいです。

⑧市外の人たちへのメッセージをお願いします。
ボランティアの皆様、こんなにしてくださってありがとうございます。汚い工事でも力仕事でも大変でした。今後よろしく願います。

橋本町の声

① 9月10日から今までどうすごしてきましたか

災害直後は救助されてから大楽寺に避難した。避難した日に娘が迎えに来たので水が引くまで娘の家に避難した。水が引いてから片付け始めて、毎日娘の家と往復して生活していたが、水道と電気が復旧してからは、2階で生活するようになった。現在は一階も清掃したので暮らせている。まだ大工さんや壁などの修理は続いている。

② 生活はどのように変わりましたか

まだ大工さんに来てもらわなければならなかったり、買わなきゃいけないものが次々に出てきたりして、以前のような生活はできない。娘の家にいくことも多くなった。

③ うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか

うれしかったこと
家族や親戚がすぐに迎えに来てくれたり、手伝いに来てくれたりしたこと。

つらかったこと

家が浸水してしまったこと。
早く直してもらいたい。

④ 今回学んだことや教訓はどんなことですか

家の中の整理が大変だということ。
行政の書類を書くことが大変だった。

⑤ 今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか

金銭的な不安がある。
体調を崩したり、病気になったりしないように気をつけなければと考えている。

⑥ まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか

分からないが、水海道は高齢者が多いので若い人がもっと増えて活気が出るようなまちになればと思う。商店街ももっと発達してほしいと思う。

⑦ 行政に望むことはなんですか

高齢者にもわかりやすい説明をしてほしい。
スピーカーの放送は、ほとんどの人が聞こえなかったり理解できないと言っていた。サービスカーで回ってくれたり、班長さんに伝えてまわしてもらった方が分かりやすいと思う。

⑧ 災害が起きた時には素早く対応してほしい。避難指示がなかったので多くの高齢者が孤立した。

⑧ 市外の人たちへのメッセージをお願いします。
ボランティアに来て下さった人達にお礼を言いたい。

声の下石本

① 9月10日から今までどうすごしてきましたか

総合体育館で色々の人にお世話になり、家の掃除や片付け。娘と車で行ったり来たりして3ヶ月お世話になって、12月8日からは旅館にお世話になっています。2月29日に帰ることになりますが、家の方がもう少しかかります。全国の皆さんにお世話になり有難うございます。後ろを振り返らなく前を見てがんばります。有難うございました。

② 生活はどこがどう変わりましたか

家に帰るのがこれからです。家が出来たら、色々な物を買わないといけませんので、がんばります。

③ うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか

避難してから知らない人が洗濯物や食事の世話をしてもらって、有難かったことです。電気毛布や自転車、洗濯機ももらった事、うれしかったので本当に有難うございました。家にあったものが水で流された事。せつげんや野菜、ネコの缶詰とか洗濯物や花や色々、どこにいつてしまったのか。思い出すとかないです。あと、家中に水がきて捨ててしまった事です。

④ 今回学んだことや教訓はどんなことですか

夜中に寝ている時に避難の放送がありました。何のことかわからなかったため、私と娘は朝になって仕事に行ってしまったため、避難所に行く事になった事です。放送がもっと良くわかれば、仕事に行かなかった事です。

⑤ 今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか

家がまだ出来ないのに帰る事です。

⑥ まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか

家の物を買わないとならない事です。とりあえずはお金かと思っています。

⑦ 行政に望むことはなんですか

二度とこのような事がないようにしていただきたいです。

⑧ 市外の人たちへのメッセージをお願いします。

避難所で食事や洗濯物を最後までやってくれたり、支援物資をいただいた事です。ありがとうございました。

匿名 被災者の声

① 9月10日から今までどうすごしてきましたか
住む所がなく、落ち着く場所がないので大変でした。品所からお掃除に通うのも大変でした。

② 生活はどうかどう変わりましたか
テレビも見られない、被災用のラジオもあったのですが、水につかってしまいました。毎日、お掃除の他は何もありません。

③ うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか
避難所でいろいろな体とかも心配してくれて、遠友からお医者さんにも来てくれて、映画・漫才・歌・そのたいろいろとうれしかったです。人に嫌われているかなとかの妄想に駆られてました事がつらかったです。

④ 今回学んだことや教訓はどんなことですか
東北みたいに被災者同士の絆は難しいと思いました。皆、自分が大変だからだと思っています。

⑤ 今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか
家がなくなり、戻ることができない。何回も変わり、落ちつく所がなくなり、精神的にもまいりました。自分1人だけじゃないので、仕方ないですね。布団やら生活に必要な物がなく、住む所もない。悲しくなります。考えるのに時間がかかりそうです。（今後ね）

⑥ まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか
まちを出る人が多く、常総市は、復興はまず住みやすくするには、手の届く所に、生活に必要な物が帰る事と、楽しく集える所ですね。人間ももう少し市の方も考えてほしい。

⑦ 行政に望むことはなんですか
災害にあつたら、あわてて私は何もできなかったです。てきぱきと動けたらと思いました。それには、どうしたら良いでしょうか。皆、力を合わせるには、どうしたら良いでしょうか。教えてください。

⑧ 市外の人たちへのメッセージをお願いします。
お見舞いの言葉、その他にお掃除ボランティアで炊き出しとか、寄付金とか有難うございます。いつか皆様方になにかありましたら、飛んで行きたいと思っております。感謝しております。自分でも災害にあっているのに、手伝っている人を見ました。すごい人もいますので、驚いています。

相野谷町の声

① 9月10日から今までどうすごしてきましたか
毎日、家のかたづけに追われていた。それをするにより、災害を忘れようとしていた。

② 生活はどこがどう変わりましたか
仕事場と住まいがいつしよだったため、働けずにいたので、お金もたいへんでした。

③ うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか
もう再開することはムリだと思ったが、ボランティアさんの助けでもう一度お店を開けることができた。思い出すと夜も眠れない。

④ 今回学んだことや教訓はどんなことですか
災害に対に常に備えをしておくこと！早目に避難すること！避難先を家族で決めておくこと！

⑤ 今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか
常総市の人口が少なくなり、お客様も半分になってしまった。とても生活に影響が出ている。

⑥ まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか
安全な街に戻るようにしてほしい。明るいイベント（年寄も参加できる）をしてほしい。

⑦ 行政に望むことはなんですか
早く工事をして、二度とこのような災害がおきないようにしてほしい。災害に対して、人に対しての対応をきちんとしてほしい。

⑧ 市外の人たちへのメッセージをお願いします。
皆さんに。来ていただき、災害の恐さを知ってほしい。

天満町の声

① 9月10日から今までどうすごしてきましたか

9月10日は普通に生活していました。9月11日の朝5時ごろ起きて外を見ると道路で水がきていてびっくりして避難所へ行く為に玄関を出ると水が玄関まで来ていた。道路に行くとき長靴がもぐるほど水がきていた。ぬれながら避難所へ行きました。

② 生活はどうかどう変わりましたか

家がかくさくて住めないのです。つくば市の公務員宿舎に住んでいます。

③ うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか

生活ができるようになったこと。

今まで住んでいた家が住めなくなつて解体した事。

④ 今回学んだことや教訓はどんなことですか

人はたすけ合いが必要なこと。

⑤ 今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか

一戸建ての家がほしい。今まで住んでいたところに近くに家がほしいと思います。

⑥ まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか

⑦ 行政に望むことはなんですか

家がほしいのでお金がほしい。

⑧ 市外の人たちへのメッセージをお願いします。

市外の人たちの皆様方には大変お世話になっています。

ほんとうにありがとうございます。

被災者の声 匿名

- ① 9月10日から今までどうすごしてきましたか
- ② 生活はどこがどう変わりましたか
- ③ うれしかったこと、つらかったことはどんなことですか
- ④ 今回学んだことや教訓はどんなことですか
- ⑤ 今後のことと考えていること、悩んでいることはなんですか
- ⑥ まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか
- ⑦ 行政に望むことはなんですか
- ⑧ 市外の人たちへのメッセージをお願いします。